BDL5570EL/11

V1.00

http://www.philips.co.jp

ユーザーマニュアル (日本語)

PHILIPS

*Signage*Solutions

安全上の注意

安全な操作方法とメンテナンスについて

警告：本書に記載のない操作方法で本製品を使用した場合、故障や感電・火災を引き起こす可能性があります。

ディスプレイを使用する際には、以下の指示に従って下さい。

操作時：

- ディスプレイは直射日光の当たらない場所や、熱を発する機器から離れた場所に設置して下さい。
- ディスプレイの通気口は塞がないで下さい。ba
- ディスプレイ内部の冷却の妨げになるため、通気口付近には物を置かないで下さい。
- ディスプレイを設置する際、電源プラグとコンセントが容易に届く位置にあることをご確認下さい。
- 電源コードを取り外すことにより、ディスプレイの電源をオフにした場合には、6 秒以上待ってから電源コードを再び取り付けて操作を行って下さい。
- 専用の電源コードを必ずご使用下さい。電源コードを紛失された場合、当社指定のサポートセンターにご連絡下さい。
- ディスプレイの操作中に、強い振動や衝撃を与えないで下さい。
- 操作中あるいは運搬中に、ディスプレイを叩いたり落としたりしないで下さい。

メンテナンス：

- ディスプレイを損傷から保護するために、LCD パネル部分に強い圧力をかけないで下さい。ディスプレイを運ぶ際には、フレームを掴んで持ち上げるようにし、LCD パネル部分に触れないようご注意下さい。
- 長期間使用しない場合は、ディスプレイの電源プラグを抜いて下さい。
- 湿った布などでディスプレイを拭く場合、電源プラグを抜いて下さい。電源をオフにした状態で、ディスプレイを乾いた布で拭くことはできますが、アルコール、アンモニアなどの有機溶剤の使用は絶対におやめ下さい。
- 故障や感電を防ぐため、ディスプレイについたほこりやゴミは拭き取って下さい。また雨や水を避けるなど、湿気の多い環境に置かないで下さい。
- ディスプレイが濡れてしまった場合、速やかに乾いた布で拭いて下さい。
- ディスプレイに異物や水が混入してしまった場合、速やかに電源をオフにし、電源コードを抜いて下さい。異物や水を完全に取り除いた後、当社指定のサポートセンターにご連絡下さい。
- 直射日光や極度な高温・低温にさらされる場所でディスプレイを使用・保管しないで下さい。
- より長くディスプレイのパフォーマンスを維持するために、以下の範囲の温度および湿度での使用を推奨します。
  - 温度 : 0~40°C
  - 湿度 : 20~80% RH

重要：ディスプレイを電源を入れた状態で長時間使用しない場合、スクリーンセーバー機能をご活用下さい。静止画像を長時間表示する場合、定期的にスクリーンをリフレッシュするアプリケーションをご使用下さい。静止画像を長時間連続して表示すると、画面に残像が残る、「焼き付き」現象が生じる場合があります。一般的に電源をオフにすれば時間の経過と共に和らぎますが、場合によっては改善されないことがあります。

警告：「焼き付き」が著しく悪化した場合、修理ができかねます。「焼き付き」は、当社の保証の対象外となりますので、ご注意下さい。

サービス：

- ディスプレイのケースカバーの取り外しは、専門のスタッフにご相談下さい。
- 修理が必要な場合は、当社指定のサポートセンターにお問い合わせ下さい。
- ディスプレイを直射日光にさらさないで下さい。

本書に従ってもディスプレイが正常に動作しない場合、当社指定のサポートセンターにお問い合わせ下さい。

アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行って下さい。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを抜いてから行って下さい。

目次

1. 開梱と設置 1
- 1.1. 開梱 1
- 1.2. 梱包箱に含まれているもの 1
- 1.3. 設置に関する注意 1
- 1.4. テーブルスタンド (オプション) の設置と取り外し 1
- 1.5. 壁に取り付ける 3
  - 1.5.1. VESA 規格取付穴 3
- 1.6. 縦向きの設置について 4
- 1.7. エッジアラインメントキットの使用法 5
  - 1.7.1. エッジアラインメントキットを取り付ける 5

2. 各部の機能 7
- 2.1. コントロールパネル 7
- 2.2. 入力 / 出力端子 8
- 2.3. リモコン 9
  - 2.3.1. 各ボタンの役割 9
  - 2.3.2. リモコン ID 10
  - 2.3.3. リモコンに乾電池を挿入する 11
  - 2.3.4. リモコンの取り扱いについて 11
  - 2.3.5. リモコンの動作範囲 11

3. 外部機器を接続する 12
- 3.1. 外部機器 (DVD/VCR/VCD) の接続 12
  - 3.1.1. コンポーネントビデオ入力 12
  - 3.1.2. ビデオソース入力 12
  - 3.1.3. HDMI ビデオ入力 13
- 3.2. PC の接続 13
  - 3.2.1. VGA 入力 13
  - 3.2.2. DVI 入力 13
  - 3.2.3. HDMI 入力 14
  - 3.2.4. DisplayPort 入力 14
- 3.3. オーディオ機器の接続 14
  - 3.3.1. 外部スピーカーの接続 14
  - 3.3.2. 外部オーディオ装置の接続 15
- 3.4. デイジーチェーン構成で複数のディスプレイを接続する 15
  - 3.4.1. ディスプレイコントロール接続 15
  - 3.4.2. デジタルビデオ接続 15
  - 3.4.3. アナログビデオ接続 16
- 3.5. IR 接続 16
- 3.6. IR パススルー接続 17
- 3.7. ケーブルを使ったネットワーク接続 17

4. 取り扱い 18
- 4.1. 接続されたビデオソースを見る 18
- 4.2. 画像フォーマットを変更する 18
- 4.3. ローカルエリア ネットワークを経由してマルチメディア ファイルを再生する 18
  - 4.3.1. ネットワークの設定 18
  - 4.3.2. DLNA-DMP の使い方 18
  - 4.3.3. PC から DLNA-DMR を使うには 19
- 4.4. USB デバイスのマルチメディア ファイルを再生する 19
- 4.5. 再生オプション 20
  - 4.5.1. 音楽ファイルの再生 20
  - 4.5.2. 動画ファイルの再生 20
  - 4.5.3. 写真ファイルの再生 20
- 4.6. Opera ブラウザ (HTML5) の使い方 20

5. 設定を変更するには 22
- 5.1. 設定（※つながっている信号によって表示される OSD メニューが異なる場合があります。） 22
  - 5.1.1. 画像 22
  - 5.1.2. サウンド 23
  - 5.1.3. タイル 23
  - 5.1.4. ネットワーク 24
  - 5.1.5. ストレージ 25
  - 5.1.6. 全般設定 26
  - 5.1.7. Advanced 28
  - 5.1.8. ウェブコントロール 28
  - 5.1.9. FTP サーバー 32

6. USB デバイス互換性 33

7. 入力モード 35

8. LCD パネルの画素欠陥および MURA について 36
- 8.1. 輝点欠陥 36
- 8.2. 部分的な輝点の欠陥 36
- 8.3. 暗点欠陥 36

9. 清掃とトラブルシューティング 37
- 9.1. 清掃 37
- 9.2. トラブルシューティング 38

10. 技術仕様 39

11. 外形図 41

1. 開梱と設置

1.1. 開梱

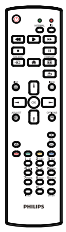
- 本ディスプレイは、標準アクセサリーと共に専用の箱に梱包されています。
- オプションのアクセサリーは、別途ご購入が必要です。
- 本ディスプレイは、サイズが大きく重いため、2 人以上でお運び下さい。
- 開梱後、内容物に不足がなく、状態に問題がないことをご確認下さい。

1.2. 梱包箱に含まれているもの

以下のアクセサリーに不足がないかご確認下さい。

- LCD ディスプレイ
- リモコン(単 4 乾電池)
- 電源コード (3 m)
- D-sub ケーブル (4 m)
- RS232 ケーブル (3 m)
- RS232 デイジーチェーンケーブル (1.8 m)
- クイックスタートガイド
- Philips ロゴ :1 個
- エッジアラインメントキット 1:1 個
- エッジアラインメントキット 2:2 個
- つまみねじ :8 個

クイックスタートガイド



リモコンと単 4 乾電池

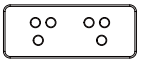
つまみねじ

ロゴを表示する

* 付属電源コードは目的地によって異なります。

電源コード

RS232 デイジーチェーン
ケーブル

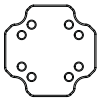


エッジアラインメントキット 2

Philips ロゴ

RS232 ケーブル

ビデオ信号ケーブル
(D-SUB 対 D-SUB ケーブル)



エッジアラインメントキット 1

注意 :

- 他の国・地域で使う場合は、当該地域の安全基準に則した電源プラグ及び電源コードを使用する必要があります。
- 本製品を運搬する際は、専用の梱包箱と梱包材の使用を推奨します。

1.3. 設置に関する注意

- 消費電力量の多い製品ですので、本ディスプレイ用に設計された専用の電源プラグをご使用下さい。
  コードの延長が必要な場合は、代理店または設置サービス事業者にご相談下さい。
- 本ディスプレイを設置する場合は、傾斜面を避け、平らな面に設置して下さい。ディスプレイの背面と壁は、適度に空気が循環する距離を保つ必要があります。使用している電子部品の寿命を短縮する恐れがあるため、本ディスプレイを台所や浴室など湿度の高い場所に設置しないで下さい。
- 本製品は、標高 3,000m 以下での使用を想定しています。
- 標高 3,000m 以上で使用する場合、何らかの異常が生じる可能性があります。

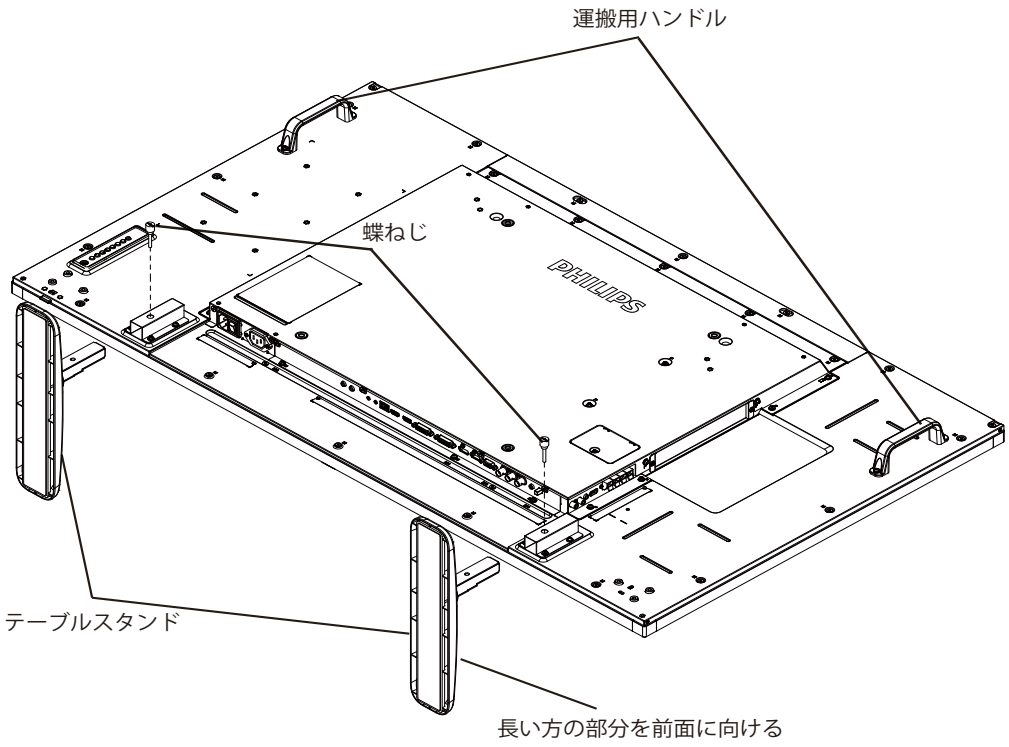
※ 取扱説明書の最新版並びに各種関係ソフトウェアの最新版は、
以下 URL にアクセスして頂き、ダウンロードして入手をお願い致します。
ご不明な点は Philips サポートセンターへお問い合わせください。
URL http://www.philips.co.jp/

1.4. テーブルスタンド (オプション) の設置と取り外し

テーブルスタンドを設置する :

1. ディスプレイの電源がオフになっていることを確認します。
2. 平らな面に保護シートを広げます。
3. 運搬用ハンドルをつかみ、ディスプレイ面を下に向けて保護シートの上に置きます。
4. ガイドブロックにスタンドを挿入した後、ねじで固定します。

注記 : スタンドの足の長い方を、ディスプレイの前面に向けます。

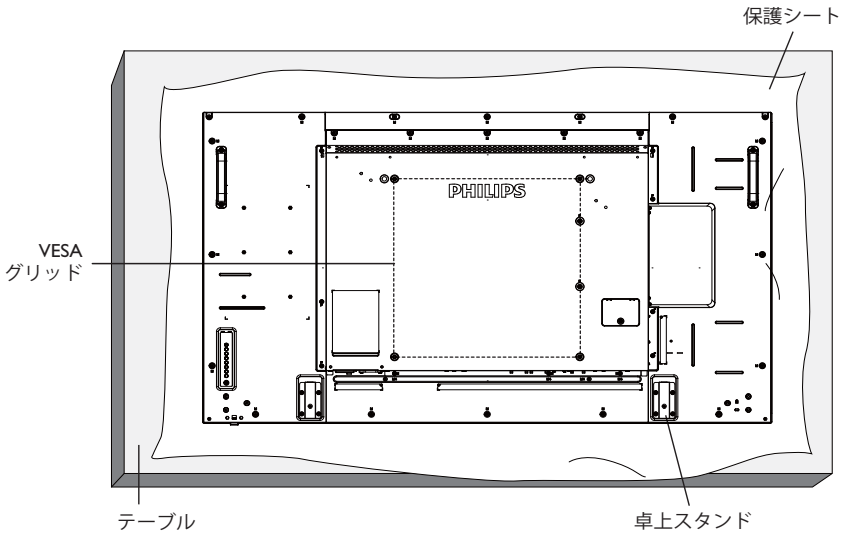


テーブルスタンドを取り外す :

1. ディスプレイの電源をオフにします。
2. 平らな面に保護シートを広げます。
3. 運搬用ハンドルをつかみ、ディスプレイ面を下に向けて保護シートの上に置きます。
4. ドライバーを使ってねじを取り外し、再使用する場合に備えて保管します。

1.5. 壁に取り付ける

本ディスプレイを壁に取り付けるには、標準の壁掛け用取付金具（市販品）を購入する必要があります。



1. 梱包時に本ディスプレイを覆っていた保護シートをテーブル上に敷き、画面表面に傷が付かないように画面表面を下にします。
2. 壁掛け用取付金具、天井用取付金具、テーブルスタンドなどに不足がないかご確認下さい。
3. 取り付けにあたっては取付金具に同梱の説明書をよくお読み下さい。
   取付手順を誤ると、破損や作業者の怪我につながる恐れがあります。誤った取付方法が原因で生じた破損は、当社の保証の対象外となりますので、ご注意下さい。
4. 壁掛け用取付金具には、M6 取付ねじ（取付ブラケットの厚さより 10mm 以上長いもの）を使用し、しっかりと固定して下さい。

1.5.1. VESA 規格取付穴

BDL5570EL	400（横）× 400（縦）mm

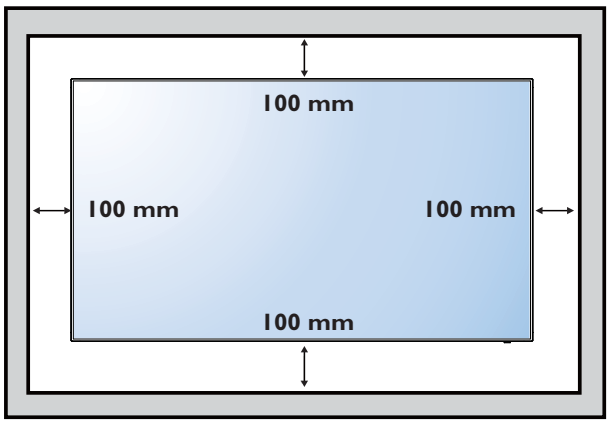
注意：

本製品の落下を防止するために :

- 本製品を壁または天井へ設置する場合は、市販の金属製ブラケットを使用して設置することを推奨します。設置の詳細説明については、それぞれのブラケットに付属のガイドを参照してください。
- 地震やその他天災が起きた際に、本製品の落下による怪我や破損の可能性を下げるため、設置場所については必ずブラケットメーカーに相談してください。

設置場所を決める際の換気要件

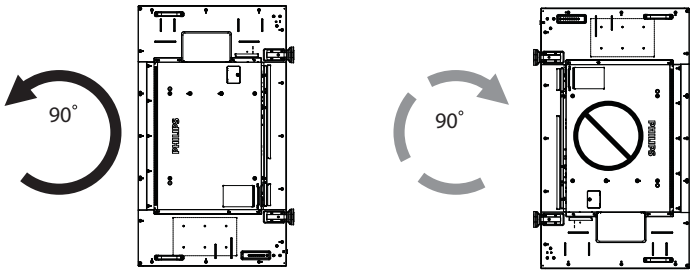
熱がこもるのを防ぐため、右図のように、ディスプレイの
周囲に十分なスペ ースを確保して下さい。



1.6. 縦向きの設置について

本ディスプレイは、縦向きの位置に設置することができます。

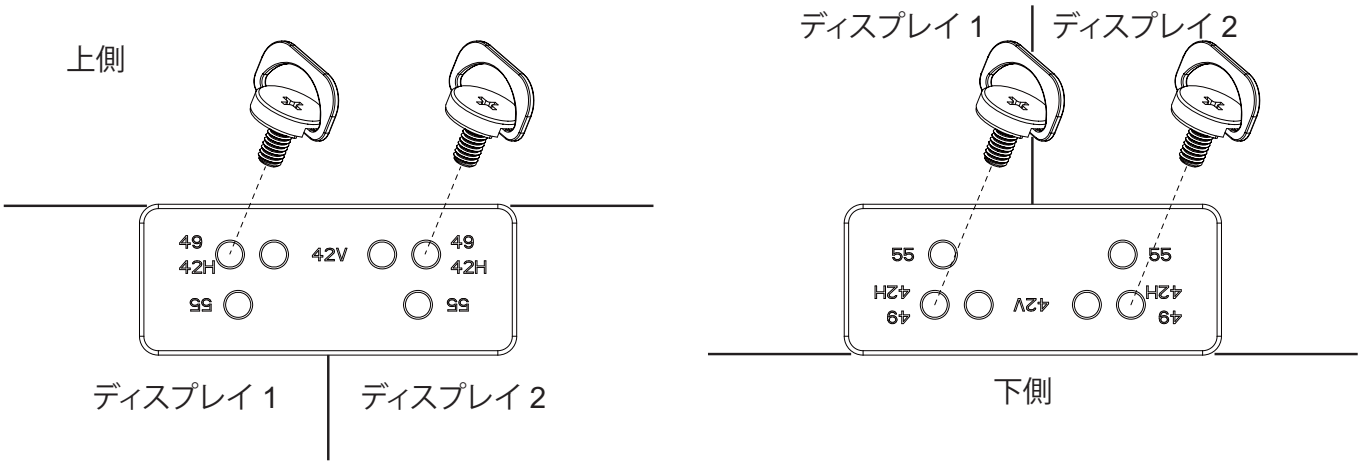
1. テーブルスタンドが取り付けられている場合、取り外します。
2. ディスプレイ面と向き合って 90 度時計回りに回転させます。ディスプレイの裏面に向き合うと、「PHILIPS」ロゴの頭文字「P」が下側に位置します。



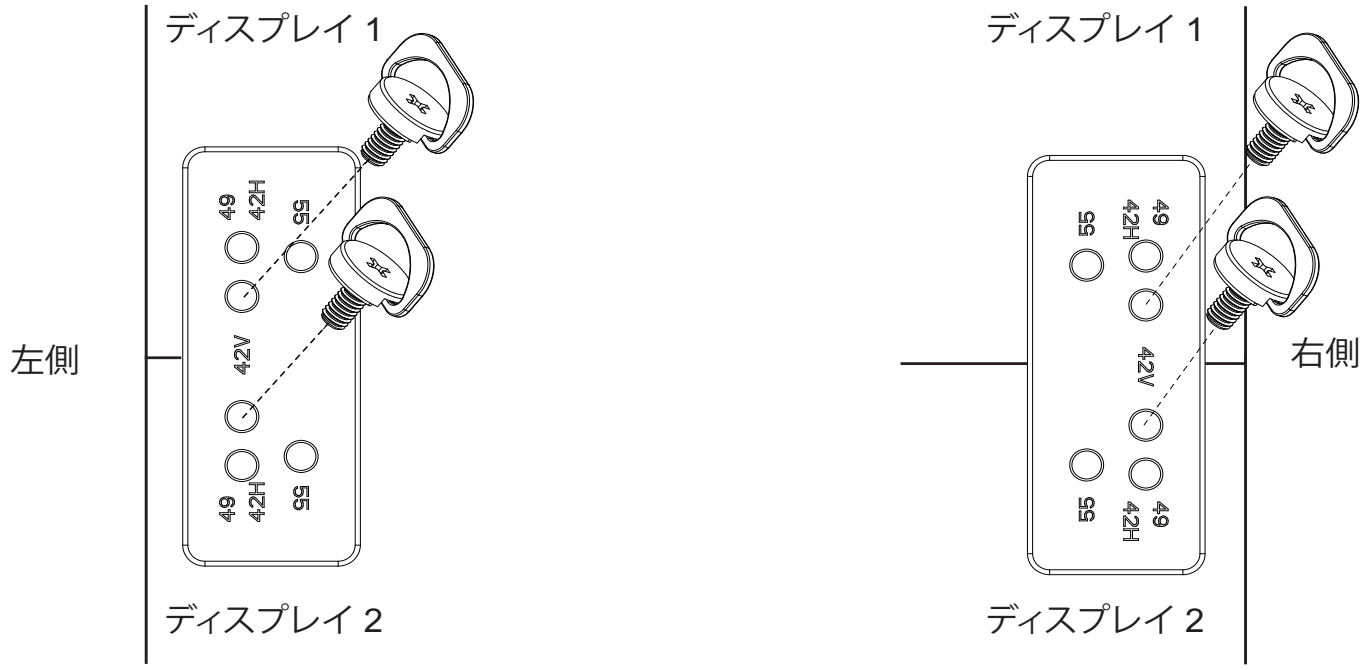
1.7. エッジアラインメントキットの使用法

1.7.1. エッジアラインメントキットを取り付ける

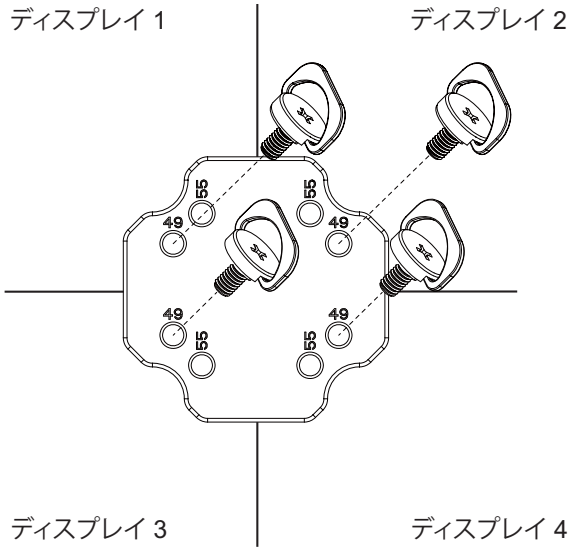
- エッジアラインメントキットを取り付ける前に、ディスプレイを壁掛けビデオのフレームに正しく取り付ける必要があります。
- 「つまみねじ」を使い、簡単に取り付けられます。
- 隣接する 2 台のディスプレイに上側および下側での「エッジアライメントキット 2」の使用。



- 隣接する 2 台のディスプレイに左側および右側での「エッジアライメントキット 2」の使用。



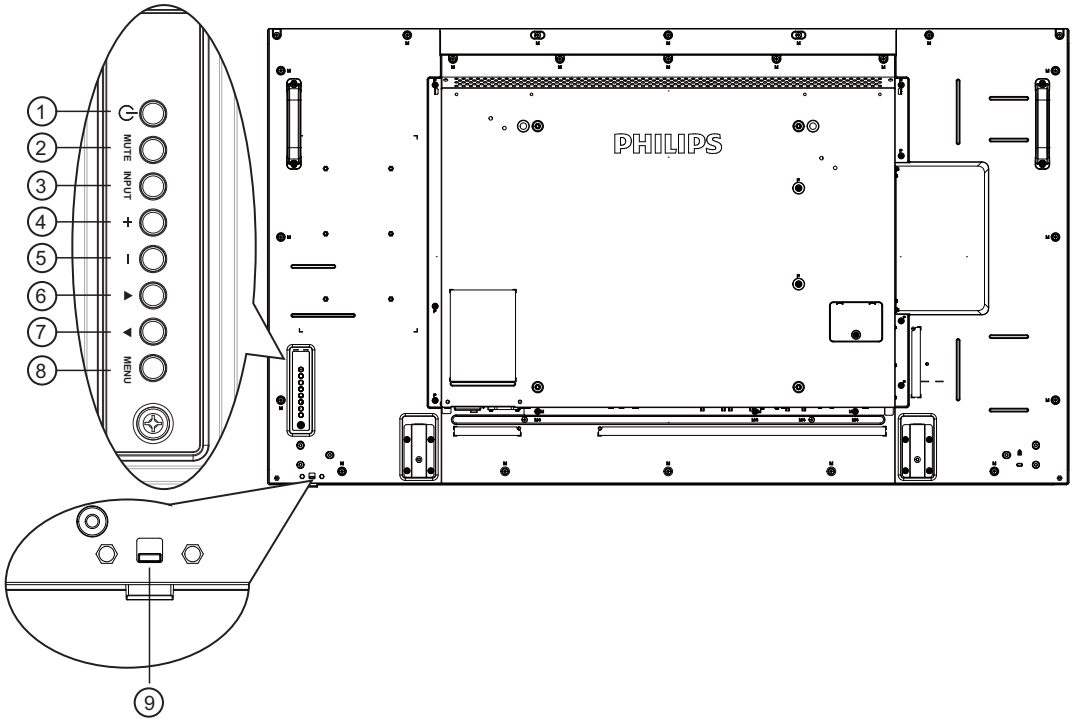
- 隣接する 4 台のディスプレイに、「エッジアラインメントキット 1」を使用します。



注 : エッジアラインメントキットを取り付ける際は、専門の設置業者に問い合わせてください。専門業者による設置をしなかった場合、当社は設置に対する賠償責任を一切負いません。

2. 各部の機能

2.1. コントロールパネル



① **[⏻] 電源ボタン**
ディスプレイの電源を入れたり、スタンバイにするときに使用します。

② **[MUTE] 消音ボタン**
音声の消音オン / オフを切り替えます。

③ **[INPUT] 入力ボタン**
入力ソースを選択します。
OSD メニューでは OK ボタンとしても使用します。

④ **[＋] ボタン**
OSD メニューの各種項目を調節する際に使用します。
OSD メニューが表示されていないときは、音声出力レベルを上げるボタンとして使用します。

⑤ **[―] ボタン**
OSD メニューの各種項目を調節する際に使用します。
OSD メニューが表示されていないときは、音声出力レベルを下げるボタンとして使用します。

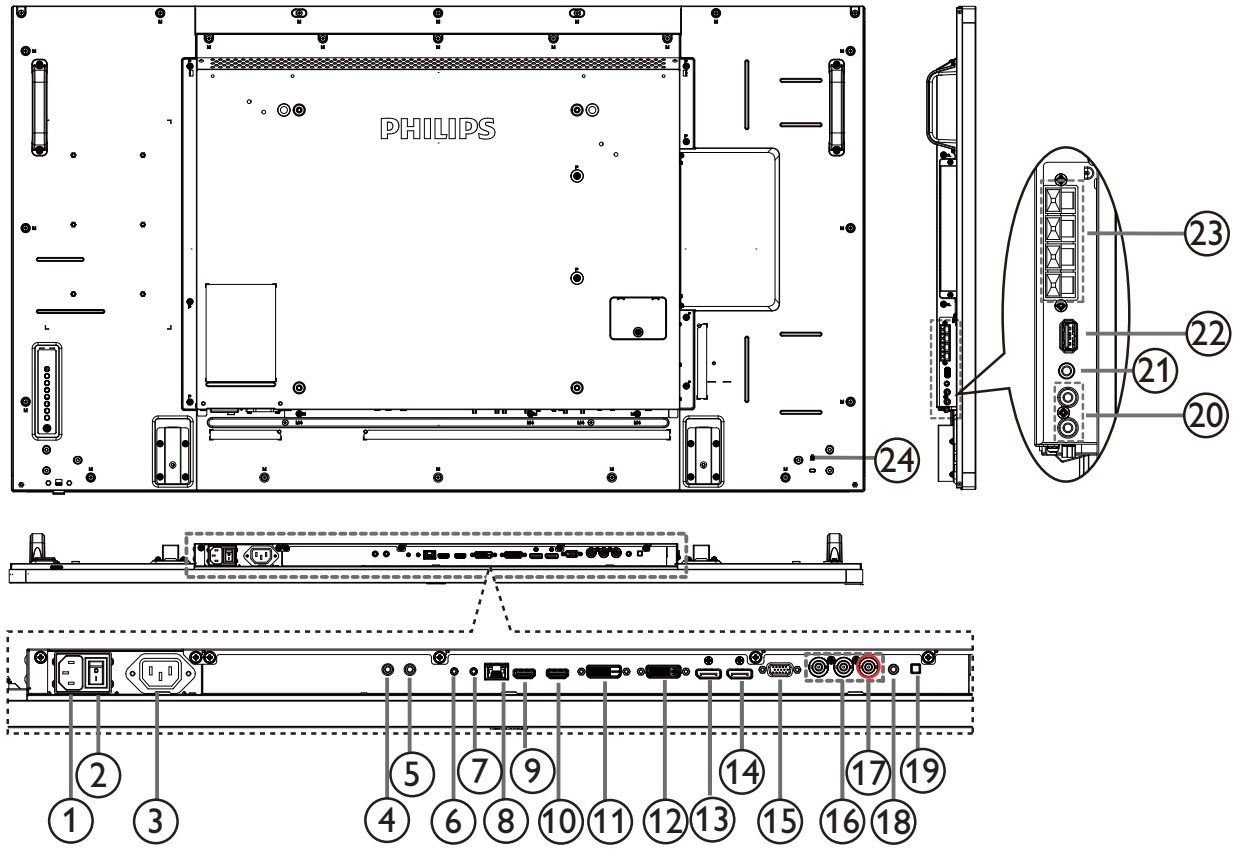
⑥ **[▲] ボタン**
OSD メニューの各種調節項目を選択する際に使用します。

⑦ **[▼] ボタン**
OSD メニューの各種調節項目を選択する際に使用します。

⑧ **[MENU] メニューボタン**
OSD メニュー表示時に押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。OSD メニューが表示されていないときに押すと、OSD メニューが表示されます。

⑨ **リモコンセンサーと電源状態インジケーター**
- リモコンからの指令信号を受信します。
- OPS のない本製品の動作状態を表示します :
  - 本製品の電源がオンのとき緑色点灯する
  - 本製品がスタンバイモードのとき赤色点灯する
  - ディスプレイが APM モードに入ると、琥珀色点灯する
  - { **スケジュール** } が有効の場合は緑と赤色に点滅する
  - 赤色点滅の場合は故障の検出を示す
  - 本製品の主電源がオフの場合消灯する

2.2. 入力 / 出力端子



① **AC 入力**
AC 電源プラグを接続します。

② **主電源**
主電源のオン / オフを切り替える。

③ **AC 出力**
メディアプレーヤーに AC 電源を供給できます。

④ **IR 入力 /** ⑤ **IR 出力**
ループスルー機能向けの IR 信号入力 / 出力端子です。
注記:
ジャック [IR IN] が接続されている場合、本ディスプレイのリモコンセンサーは機能を停止します。本ディスプレイを使ってお持ちの A V 機器をリモート操作するには、17 ページの IR パススルー接続を参照してください。

⑥ **RS232 入力 /** ⑦ **RS232 出力**
ループスルー機能向けの RS232 信号入力 / 出力端子です。

⑧ **RJ-45**
コントロールセンターからリモコン信号を使用するための LAN 制御用端子です。

⑨ **HDMI1 入力 /** ⑩ **HDMI2 入力**
HDMI ビデオ / 音声入力端子です。

⑪ **DVI 入力**
DVI-D ビデオ入力端子です。

⑫ **DVI 出力**
DVI および VGA ビデオ出力端子。

⑬ **DisplayPort 入力 /** ⑭ **DisplayPort 出力**
DisplayPort ビデオ入力 / 出力端子です。

⑮ **VGA 入力 (D-Sub)**
VGA ビデオ入力端子です。

⑯ **コンポーネント入力 (BNC)**
コンポーネント YPbPr ビデオソース入力端子です。

⑰ **Y/CVBS**
ビデオソース入力端子です。

⑱ **音声入力 (ステレオミニジャック)**
VGA 音声入力 (3.5mm ステレオ) 端子です。

⑲ **スピーカースイッチ**
内部スピーカーオン / オフスイッチ。

⑳ **音声入力**
内部 AV デバイスからの音声 (RCA) 入力端子です。

㉑ **音声出力**
外部 AV 機器への音声出力端子です。

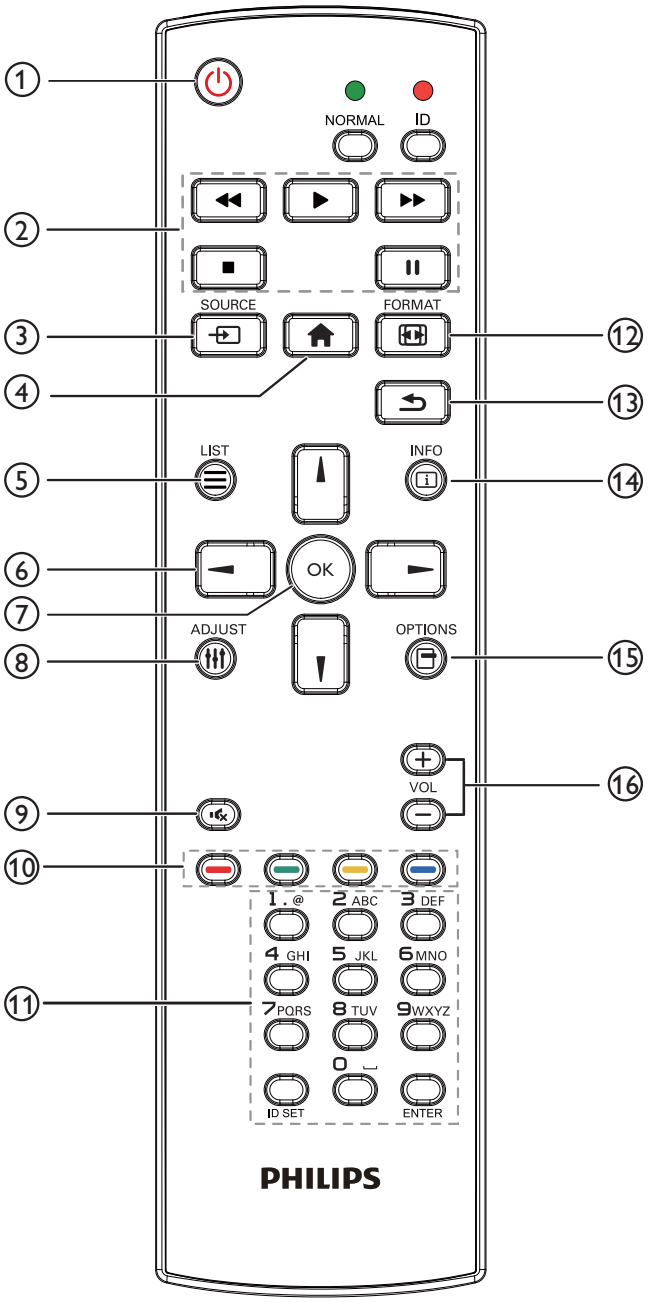
㉒ **USB ポート**
USB ストレージデバイスを接続します。

㉓ **スピーカー出力**
外部スピーカへの出力端子です。

㉔ **セキュリティロック**
安全および盗難防止用に使用します。

2.3. リモコン

2.3.1. 各ボタンの役割



① **[⏻] 電源ボタン**
ディスプレイをオンにしたり、スタンバイモードにします。

② **[Play] ボタン**
メディアファイルの再生を操作します。

③ **[⏏] ソースボタン**
入力ソースを選択します。[◄] または [►] ボタンを押して **USB**、**ネットワーク**、**HDMI 1**、**HDMI 2**、**DisplayPort**、**Card OPS**、**DVI-D**、**YPbPr**、**AV** および **VGA** を選択します。[OK] ボタンを押して確認し、終了します。

④ **[⌂] ホームボタン**
OSD メニューにアクセスします。

⑤ **[☰] リストボタン**
使用しません。

⑥ **[▲] [▼] [◄] [►] ボタン**
メニューを移動して項目を選択します。

⑦ **[OK] ボタン**
入力または選択を確定します。

⑧ **[⚙] 調整ボタン**
現在選択可能なオプションを操作します。画像および音声メニュー用。

⑨ **[🔇] 消音ボタン**
消音機能をオン／オフで切り換えます。

⑩ **[ ] [ ] [ ] [ ] 色ボタン**
タスクやオプションを選択します。

⑪ **[番号 / ID 設定 / 入力] ボタン**
ネットワーク設定の際にテキストを入力します。
ここを押して、ID を設定します。詳細については **2.3.2. リモコン ID** を参照してください。

⑫ **[⛶] 形式ボタン**
画像フォーマットを変更します。

⑬ **[⮌] 戻るボタン**
以前に選択したメニューに戻る、または以前の機能を終了します。

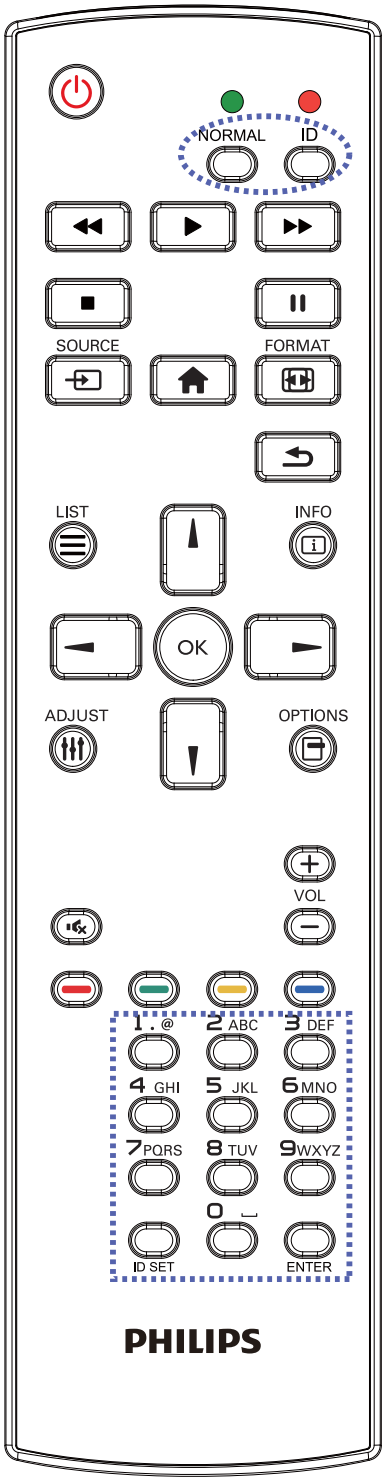
⑭ **[ⓘ] 情報ボタン**
現在実行しているアクティビティの情報を表示します。

⑮ **[⎘] オプションボタン**
現在選択可能なオプションを操作します。画像および音声メニュー用。

⑯ **[−] [+] 音量ボタン**
音量を調節します。

2.3.2. リモコン ID

複数のディスプレイの中の 1 つでこのリモコンを使用する場合には、リモコン用 ID を設定できます。



[**ID**] ボタンを押してください。赤い LED が 2 回点滅します。

1. ID モードに移行するためには、[ID 設定] ボタンを 1 秒以上押してください。赤い LED が点灯します。
   [ID 設定] ボタンを再度押すと、ID モードを離れます。赤い LED が消えます。

[**0**] ~ [**9**] の数字を押して、コントロールしたいディスプレイを選択します。

例 : ディスプレイ番号 1 では、[**0**] と [**1**]、ディスプレイ番号 11 では、[**1**] と [**1**] を押してください。

使用できる番号は [**01**] ~ [**255**] です。

2. 10 秒以内にどれかのボタンを押さないと、ID モードを離れます。
3. 数字以外のボタンを押してエラーが生じた場合には、赤い LED が消えて再度点灯してから 1 秒間待って、正しい数字を押してください。
4. [**入力**] ボタンを押して、承認してください。赤い LED が 2 回点滅して、消えます。

注:

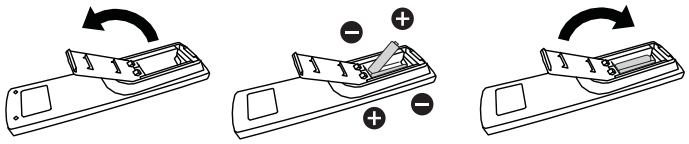
- [Normal] ボタンを押してください。緑の LED が 2 回点滅して、ディスプレイが正常に作動していることを示します。
- ID 番号を選択する前に各ディスプレイに対する ID 番号を設定することが必要です。

2.3.3. リモコンに乾電池を挿入する

リモコンは 1.5V 単 4 乾電池 2 本で作動します。

以下に従い、乾電池を入れて下さい。

1. カバーを押してスライドさせ、電池ケースを開いて下さい。
2. 電池ケース内の「+」と「-」に合わせて乾電池を入れて下さい。
3. カバーを閉じて下さい。



注意：

乾電池を間違って使用すると、液漏れまたは破裂することがあります。以下の指示に必ず従って下さい：

- 単 4 乾電池の (+) と (-) 記号が、電池ケース内の (+) と (-) 記号に合うようにしてセットします。
- 異なる種類の乾電池を一緒に使用しないで下さい。
- 新しい乾電池と古い乾電池を一緒に使用しないで下さい。乾電池の寿命が短くなったり、液漏れの原因となります。
- 使用済みの乾電池は液漏れの原因となるため、使用しないで下さい。肌にダメージを与えることがあるため、乾電池の漏れた酸に触れないで下さい。

注記 : 長期間リモコンを使用しない場合、乾電池を取り出して下さい。

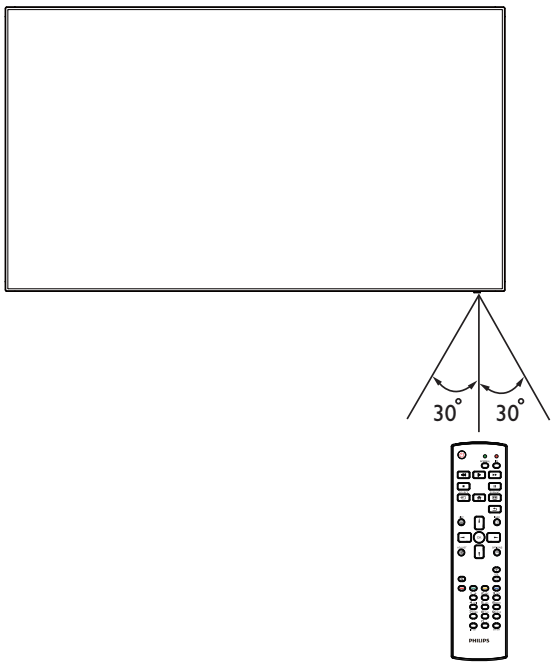
2.3.4. リモコンの取り扱いについて

- 強い衝撃を与えないで下さい。
- 水などの液体をリモコンにかけないで下さい。リモコンが濡れたときには、速やかに拭いて乾かして下さい。
- 熱と蒸気を避けて下さい。
- 乾電池を入れるとき以外は、リモコンのカバーを開けないで下さい。

2.3.5. リモコンの動作範囲

リモコンを操作をするときは、リモコンの上部をディスプレイのリモコンセンサーに向け、リモコンセンサーから 8 メートル未満、水平方向と垂直方向それぞれ 30 度未満の範囲内でご使用下さい。

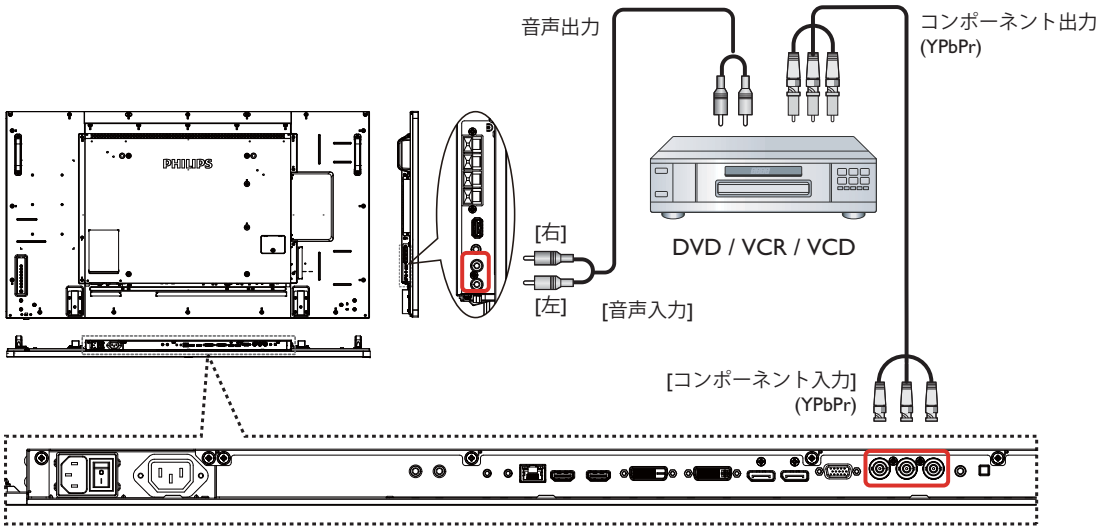
注記 : リモコンセンサーに直射日光や強い照明が当たっていたり、信号の経路に障害物がある場合は、リモコンが適切に作動しないことがあります。



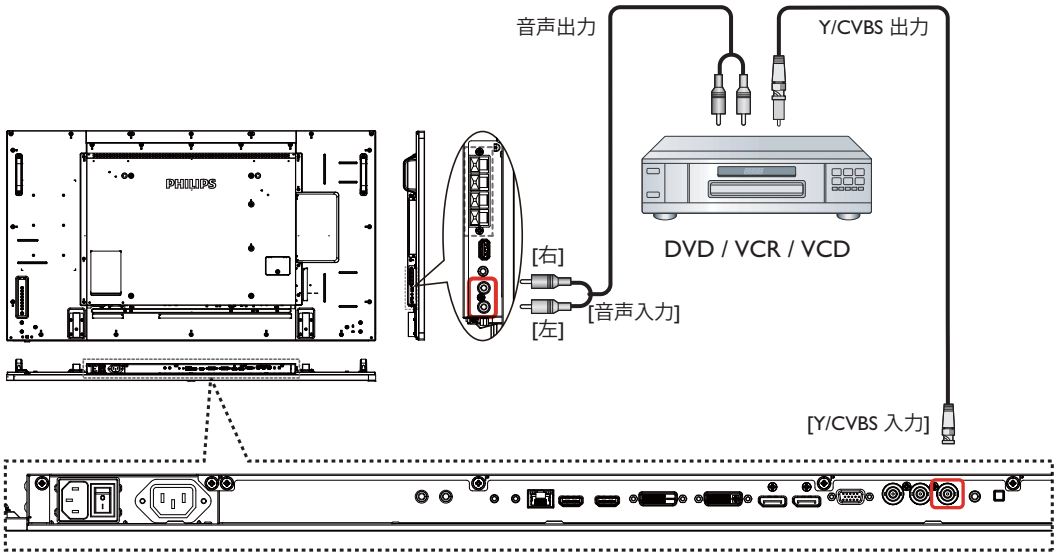
3. 外部機器を接続する

3.1. 外部機器 (DVD/VCR/VCD) の接続

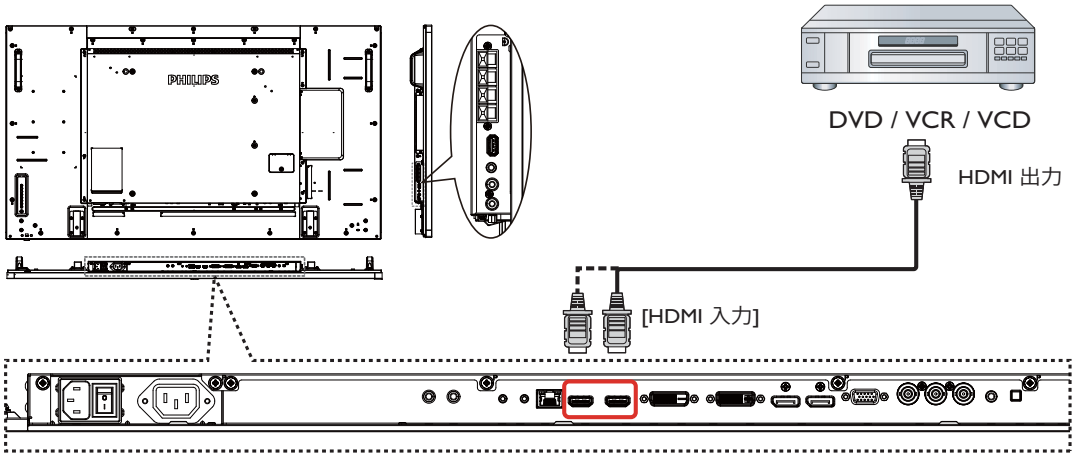
3.1.1. コンポ―ネントビデオ入力



3.1.2. ビデオソース入力

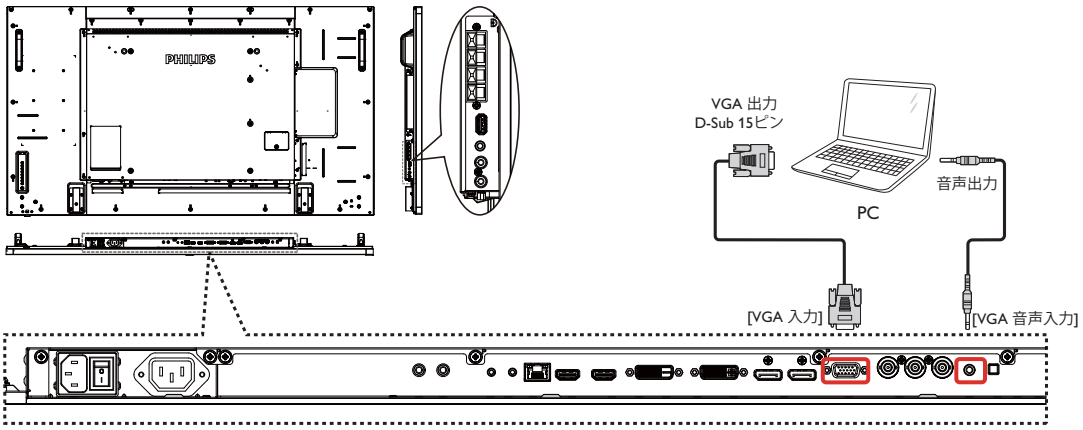


3.1.3. HDMI ビデオ入力

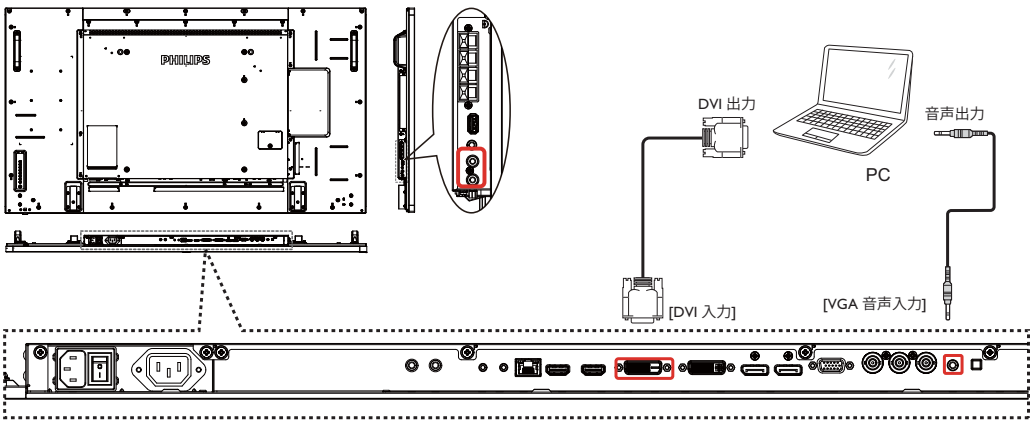


3.2. PC の接続

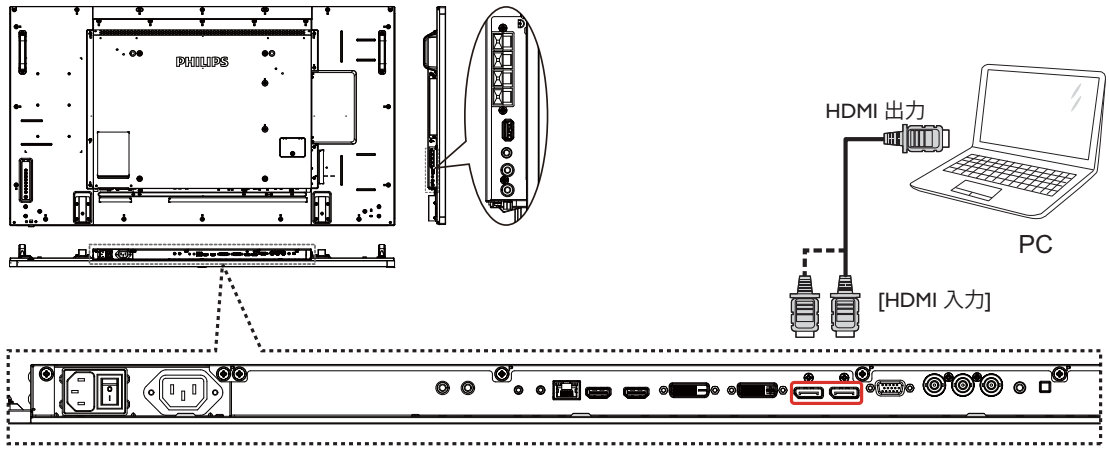
3.2.1. VGA 入力



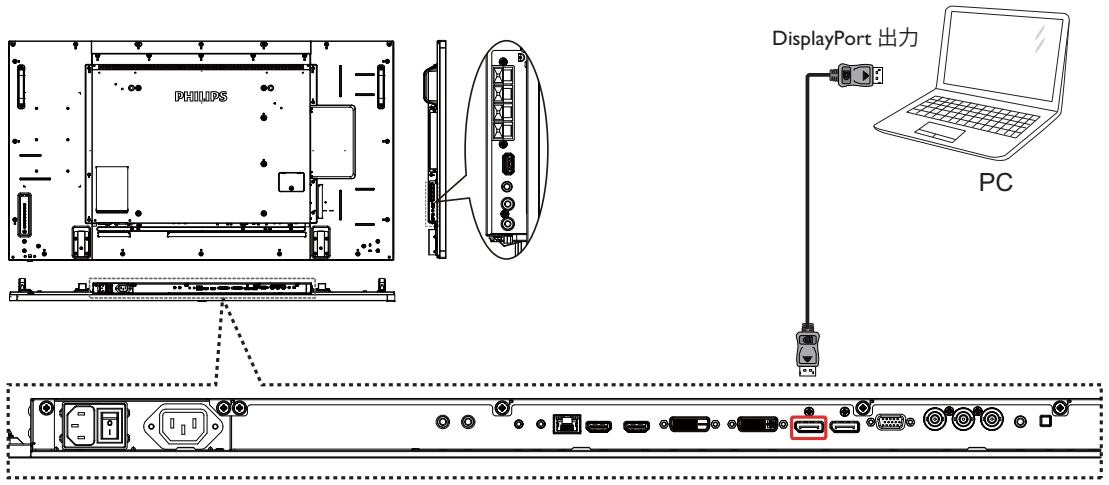
3.2.2. DVI 入入力



3.2.3. HDMI 入力

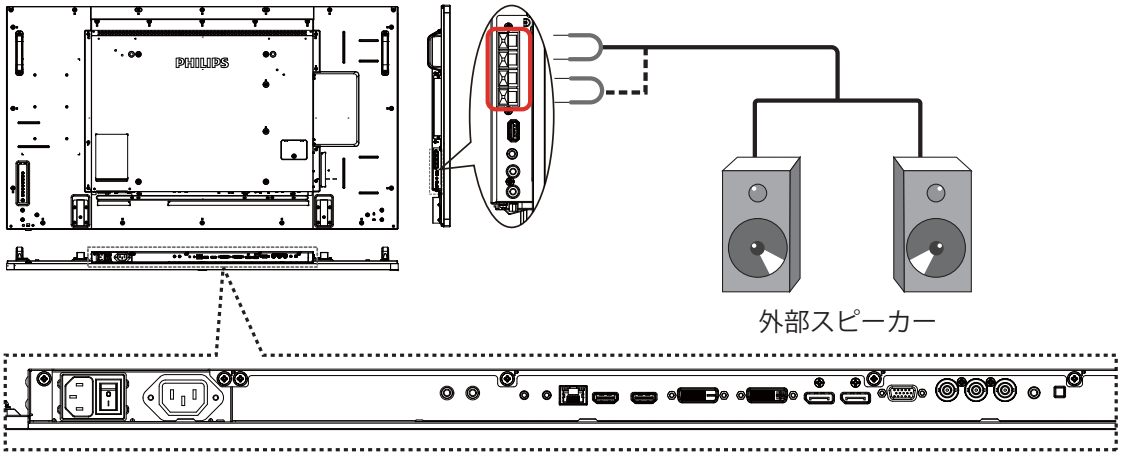


3.2.4. DisplayPort 入力

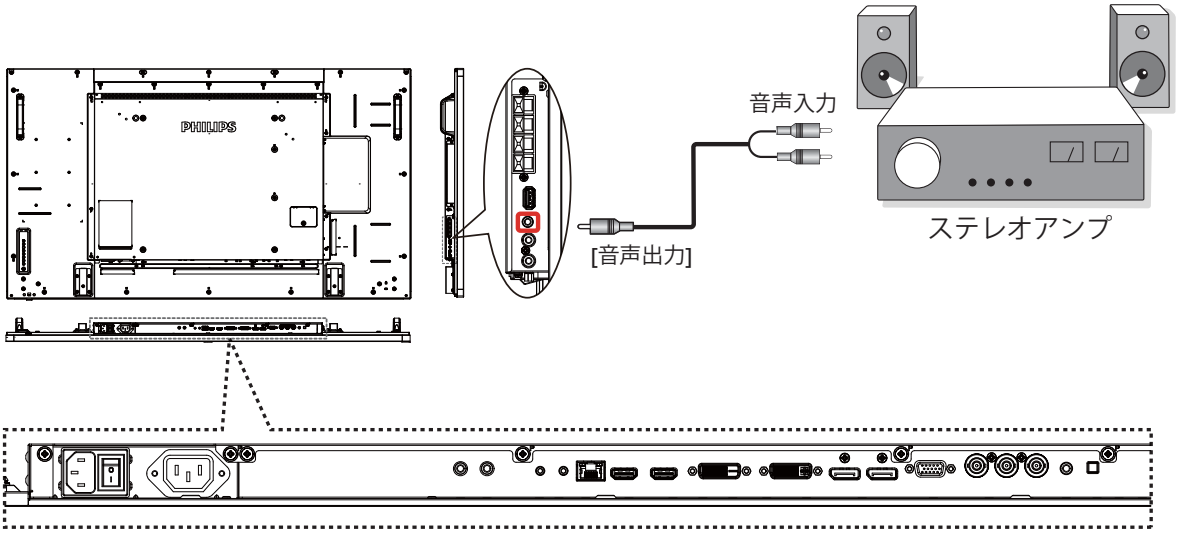


3.3. オーディオ機器の接続

3.3.1. 外部スピーカーの接続



3.3.2. 外部オーディオ装置の接続



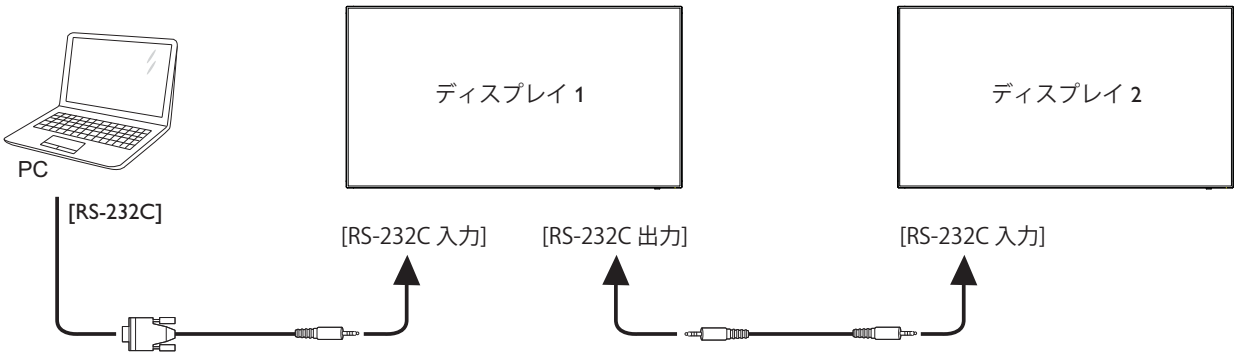
3.4. デイジーチェーン構成で複数のディスプレイを接続する

ビデオウォールなどの用途向けに、複数のディスプレイを相互接続しデイジーチェーン構成が可能です。

注記 : DVI 接続によって最大 25 面 (5x5) のデイジーチェーンを組むことができます。また VGA 接続によって最大 9 面のデイジーチェーンを組むことができます。

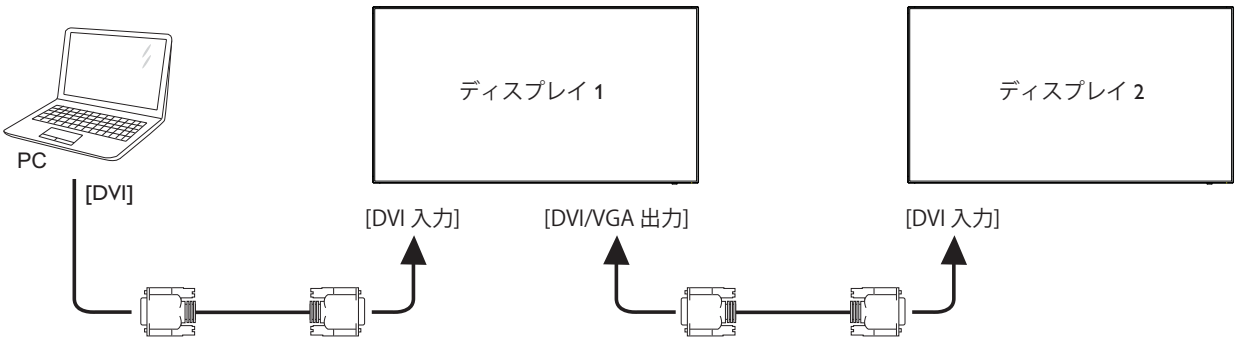
3.4.1. ディスプレイコントロール接続

ディスプレイ 1 の [RS232 出力] コネクタを ディスプレイ 2 の [RS232 入力] コネクタに接続します。

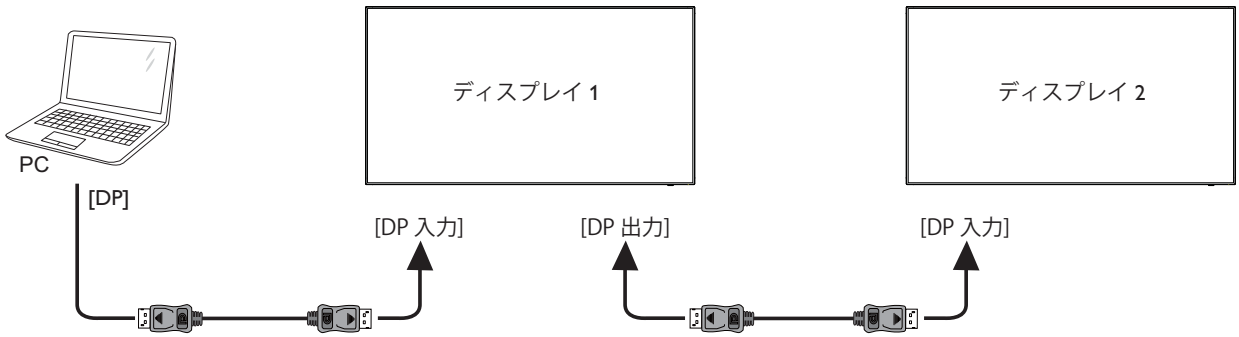


3.4.2. デジタルビデオ接続

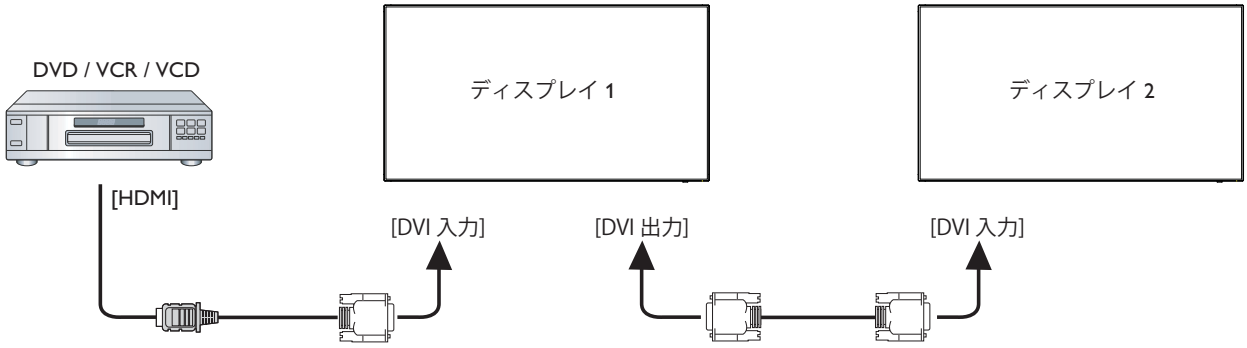
ディスプレイ 1 の [DVI 出力 / VGA 出力] コネクタを ディスプレイ 2 の [DVI 入力] コネクタに接続します。



ディスプレイ 1 の [DP 出力] コネクタを ディスプレイ 2 の [DP 入力] コネクタに接続します。

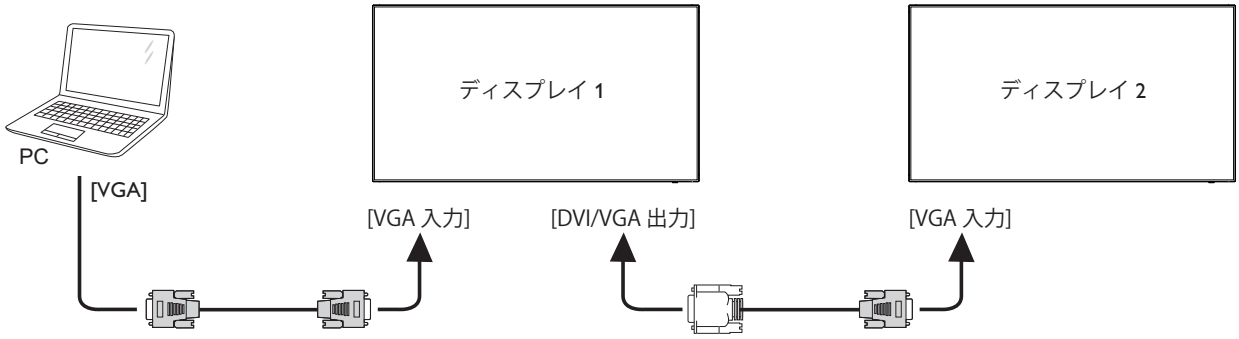


ディスプレイ 1 の [DVI 出力] コネクタを ディスプレイ 2 の [HDMI 入力] コネクタに接続します。

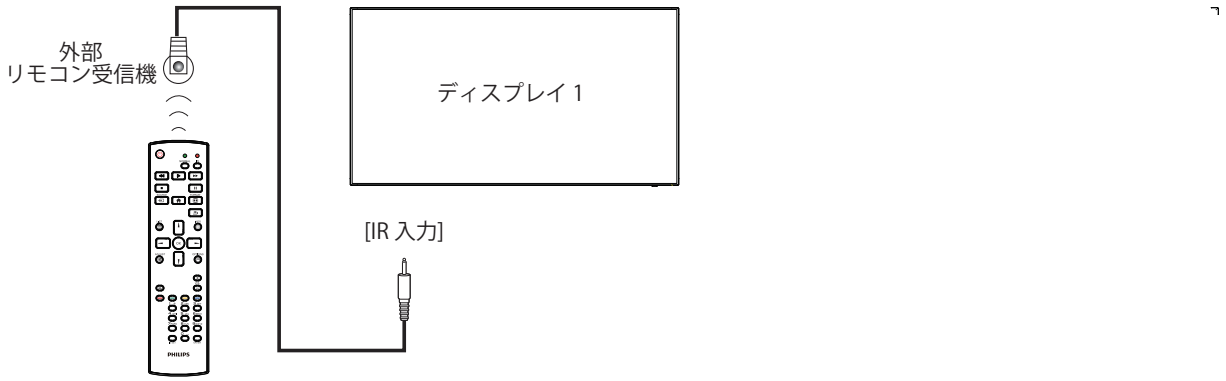


3.4.3. アナログビデオ接続

ディスプレイ 1 の [DVI 出力 /VGA 出力] コネクタを ディスプレイ 2 の [VGA 入力] コネクタに接続します。

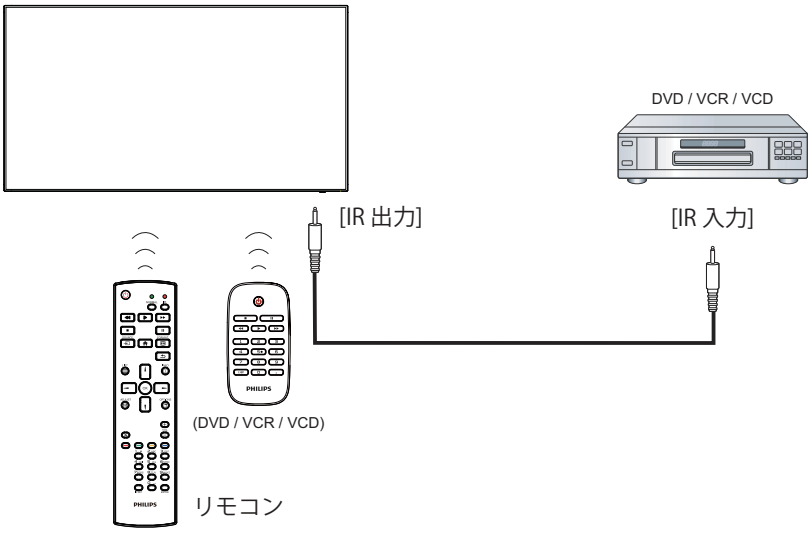


3.5. IR 接続



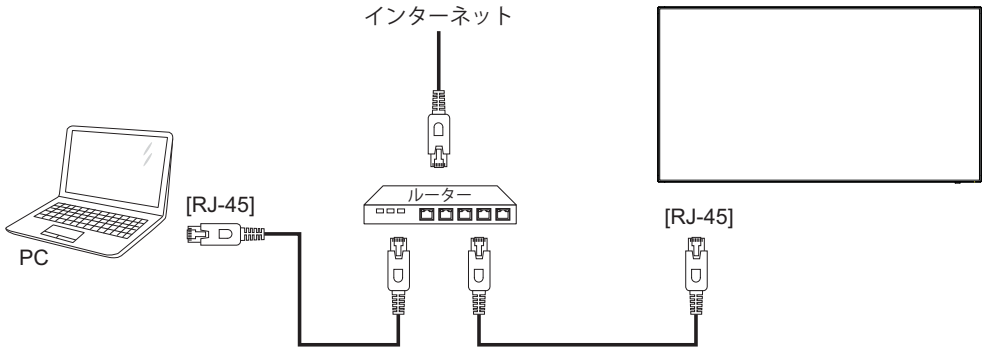
注 : [**IR 入力**] が接続されている場合、本製品のリモコンセンサーは機能を停止します。

3.6. IR パススルー接続



3.7. ケーブルを使ったネットワーク接続

本製品をホームネットワークに接続すると、お使いのコンピュータから写真や音楽、動画の再生ができます。詳細については*「ローカルエリアネットワークを経由してマルチメディア ファイルを再生する」* (18 ページ) を参照してください。



ネットワークを設定するには、

1. ルーターの電源を入れ、DHCP 設定を有効にします。
2. イーサネットケーブルを使って、ルーターを本製品に接続します。
3. リモコンの [⌂] **ホーム** ボタンを押した後に、**セットアップ** を選択します。
4. **ネットワークに接続する**を選択して、[OK] ボタンを押します。
5. スクリーン上の説明に従ってネットワークをインストールします。
6. 本製品がネットワーク接続を検出するまで待ちます。
7. 表示があれば、「**エンドユーザーライセンス**」に同意します。

注 : EMC 指令に準拠するため、シールドされた CAT-5 イーサネットケーブルを使って接続してください。

4. 取り扱い

注: この章で説明されている操作ボタンは、特に記述のない限りリモコン上にあるボタンを指します。

4.1. 接続されたビデオソースを見る

外部機器の接続に関しては、12 ページを参照してください。

1. [ ] **ソース**ボタンを押します。
2. [ ] または [ ] ボタンを押してデバイスを選択し、[OK] ボタンを押します。

4.2. 画像フォーマットを変更する

ビデオソースに合わせて画像フォーマットを変更することができます。それぞれのビデオソースに対して、使用可能な画像フォーマットがあります。

使用可能な画像フォーマットはビデオソースによって異なります。

1. [ ] 形式ボタンを押します。
2. [ ] または [ ] ボタンを押して画像フォーマットを選択し、[OK] ボタンを押します。
   - { **オートズーム** }: スクリーンいっぱいに拡大します。スクリーンの歪みを最小にすることをお勧めします。HD や PC にはご利用できません。
   - {**16:9**}:4:3 形式を 16:9 形式に調整します。HD や PC にはご利用できません。
   - { **ワイド** }: ワイドスクリーン形式を、コンテンツを拡大せずに表示します。HD や PC にはご利用できません。
   - {DOT BY DOT}:PC 画像の細部が最大限に表示されます。
   - {**4:3**}: 従来の 4:3 形式で表示します。
   - {CUSTOM ZOOM}: **画像とエッジ**サブメニューで、カスタマイズズーム設定の適用を選択します。

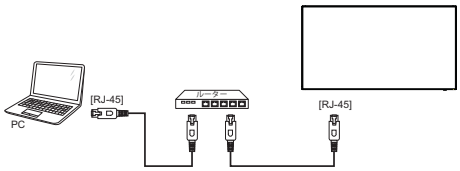
4.3. ローカルエリア ネットワークを経由してマルチメディア ファイルを再生する

ローカルエリア ネットワークを経由してファイルを再生するには、以下が必要です。

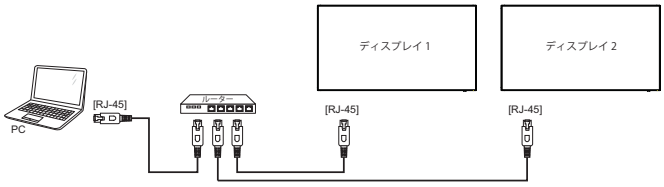
- ホームネットワーク接続。ユニバーサル プラグアンドプレイ (uPnP) 対応ルーターに接続します。
- オプション : 本製品をホームネットワークに接続するための LAN ケーブル。
- コンピュータで稼働するメディアサーバー。
- メディアサーバーを実行可能にするコンピュータのファイアウォール設定の適用。

4.3.1. ネットワークの設定

1. 本製品とコンピュータを同じホームネットワークに接続します。本製品をネットワークに接続するには、下図を参照してください。
2. コンピュータとルーターの電源を入れます。
   - **単一ディスプレイの設定**



   - **複数ディスプレイでの設定**



注: 外部からの電気的妨害 (例:静電放電) により本製品が DLNA モードに戻らない場合は、ご自身で戻して頂く必要があります。

メディア共有を設定する

1. メディアファイルを共有するため、コンピュータにメディアサーバーをインストールします。以下はメディアサーバーの一例です。
   - **PC** 用:Windows Media Player 11 (またはそれ以上) および TVersity
   - **Mac** 用:Twonky
2. メディアサーバーを使って、コンピュータ上のメディア共有を有効にします。メディアサーバーの詳しい設定方法については、メディアサーバー元のサイトを参照して下さい。

4.3.2. DLNA-DMP の使い方

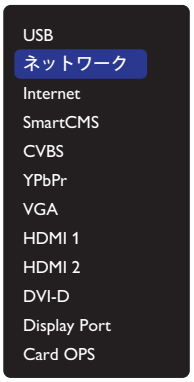
ネットワークに接続していることを確認します。

[i]ボタンを押し、ネットワークの接続を表示できます。

HDMI 1 1080p60	26/09/2014 Friday 09:32:00
Picture format	Wide screen
Picture style	Standard
Sound style	Original
Smart power	Off
Volume	20
Monitor group	1
Monitor ID	1
Model name	BDL5570EL
SWVersion	1.05
Serial no	
Temperature	33°C
Cooling fan	0 RPM
Network configuration	DHCP
IP address	0.0.0.0
Netmask	0.0.0.0
Gateway	0.0.0.0
Network name	BDL5570EL
Ethernet MAC address	00:24:67:33:50:43

画面上でファイルを再生する

1. [ ] **ソース**ボタンを押して、**ネットワーク**を選択し [OK] ボタンを押します。



2. スクリーン上に同じルーターに接続されている全ての PC が表スクリーン上に同じルーターに接続されている全ての PC が表示されます。必要な PC を選択します。

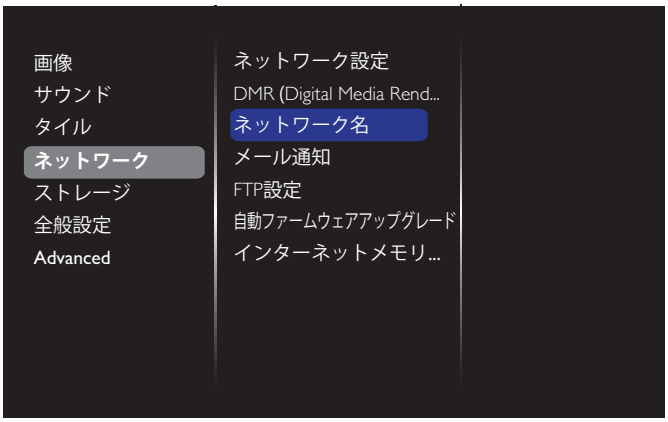
3. [ ] と [ ] を押して再生するディレクトリとファイルを選択します。
4. 同じ PC に最大 4 台までのディスプレイを接続して、同じメディア ストリームを再生することができます。

4.3.3. PC から DLNA-DMR を使うには

1. [ ] ホームボタンを押して、ネットワークを選択し [OK] ボタンを押します。

2. **DMR（Digital Media Renderer）**を**オン**に設定します。

3. ディスプレイの名前を設定します。



4. [ ] ソースボタンを押して**ソース** メニューを開きます。**ネットワーク**を選択して [OK] ボタンを押します。
5. PC 上で**ネットワークと共有センター**を開いて**ホームグループと共有に関するオプションの選択**をクリックします。
6. メディア形式を確認します。**メディア ストリーミング オプションの選択 ...** をクリックします。
7. **共有の詳細設定**を開き、**ネットワーク探索を有効にする**を選択します。
8. 次に、メディアファイルの保存されたディレクトリに移動します。右クリックしてメディアファイルを選択します。**リモート再生**のサブメニューに、ネットワークに接続されている全てのディスプレイが表示されます。ディスプレイを選択して、再生するメディアファイルをクリックします。

ファイルを再生する

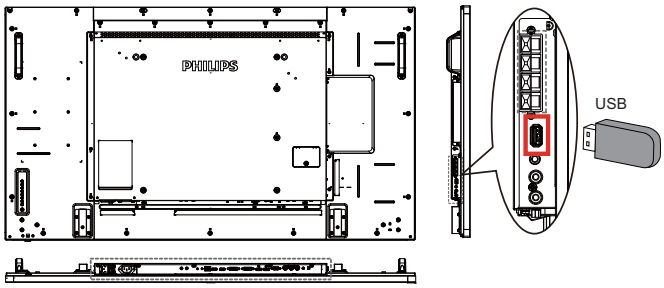
1. [ ] **ソース**ボタンを押します。
2. **ネットワークを閲覧する**を選択して [OK] ボタンを押します。
3. コンテンツ ブラウザからファイルを選択し、[OK] ボタンを押して再生します。
4. 再生を操作するには、リモコン上にある **[再生] ボタン**を押します。

ヒント :

- ファイルの種類でファイルを絞り込むには、トップバーを選択します。
- **ソート**を選んで、アルバム名やアーティスト名、その他のフィールド毎に並び替えます。
- 接続されていないメディアサーバーを非表示にするには、[ ] オプションボタンを押します。その後、**オフライン サーバーをクリア**を選択して [OK] ボタンを押します。

4.4. USB デバイスのマルチメディア ファイルを再生する

1. 本製品の USB ポートに USB デバイスを接続します。



2. [ ] **ソース**ボタンを押して、**USB** を選択し [OK] ボタンを押します。

3. 接続されている USB デバイスが自動的に検出され、中にある再生可能な全てのファイルが 3 つのタイプに自動的に分けられます。**音楽**、**ムービー**、そして**写真**です。
4. スクリーンの最上層に戻るには、[⮌] 戻るボタンを押します。ファイルのタイプを選択するには [◄] または [►] ボタンを押します。再生リストを表示するには [OK] ボタンを押します。
5. 必要なファイルを選択します。再生するには [OK] ボタンを押します。
6. スクリーン上の説明に従って再生オプションを操作します。
7. **[再生] ボタン** (■ ❚❚ ◀◀ ▶ ▶▶) を押して再生を操作します。

4.5. 再生オプション

4.5.1. 音楽ファイルの再生

1. トップバーの **Music** を選択します。

2. 曲を一曲選択して [**OK**] ボタンを押します。
   - フォルダー内にあるすべての曲を再生するには、音楽ファイルを選択します。その後 [▬] を押して **Play All (すべて再生)** を実行します。
   - 曲をスキップするには、[▲] または [▼] ボタンを押します。
   - 曲を一時停止するには [**OK**] ボタンを押します。再生を再開するには、もう一度 [**OK**] ボタンを押します。
   - 前後の 10 秒間をスキップするには [◄] または [►] ボタンを押します。
3. 再生順を変更するには、[◀◀] または [▶▶] ボタンを押します。速度を切り替えるには繰り返して押し続けます。
   - 音楽を停止するには [■] ボタンを押します。

音楽オプション

音楽の再生中に [☐] OPTIONS (オプション) ボタンを押し、その後 [OK] ボタンを押してオプションを選択します。

- {Shuffle} (シャッフル): 曲のランダム再生を有効または無効にします。
- {Repeat} (リピート): 曲またはアルバムを繰り返して再生するには {Repeat} (リピート) を選択し、一回のみ再生するには {Play once} (一回のみプレイ) を選択します。

注記： 曲の情報 (例：曲名、アーティスト名、長さ) を表示するには、曲を選択して [i] INFO ボタンを押します。情報を非表示にするには、もう一度 [i] INFO ボタンを押します。

4.5.2. 動画ファイルの再生

1. トップバーの **Movie** を選択します。

2. 動画を選択して [**OK**] ボタンを押します。
   - フォルダー内にあるすべての動画を再生するには、動画ファイルをひとつ選択します。その後 [▬] を押して **Play All** を実行します。
   - 動画を一時停止するには [**OK**] ボタンを押します。再生を再開するには、もう一度 [**OK**] ボタンを押します。
   - 前後の 10 秒間をスキップするには [◄] または [►] ボタンを押します。
   - 再生順を変更に検索するには、[◀◀] または [▶▶] ボタンを押します。速度を切り替えるには繰り返して押し続けます。
   - 動画を停止するには [■] ボタンを押します。

Movie オプション

ビデオの再生中に [☐] OPTIONS ボタンを押し、その後 [**OK**] ボタンを押してオプションを選択します。

- {Subtitles} (字幕): 表示可能な字幕を設定します。
- {Subtitle Language} (字幕言語): 表示可能な字幕の言語を選択します。
- {Shuffle} (シャッフル): 動画ファイルのランダム再生を有効または無効にします。
- {Repeat} (リピート): 動画ファイルを繰り返し再生するには {Repeat} (リピート) を選択し、動画ファイルを一回のみ再生するには {Play once} (一回のみプレイ) を選択します。
- {Status}: 動画の情報 (例：Title / Size / Date / Sound mode) を表示。

4.5.3. 写真ファイルの再生

1. トップバーの **Photo** を選択します。

2. 小さく表示された写真を選んで [**OK**] ボタンを押します。

スライドショーを開始する

フォルダーに写真が複数ある場合は、写真を一枚選択します。その後 [▬] を押して **Play All** を実行します。

- 前後の写真をスキップするには [◄] または [►] ボタンを押してから [**OK**] ボタンを押します。
- スライドショーを停止するには [■] ボタンを押します。

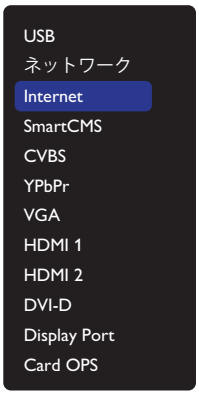
スライドショーオプション

スライドショーの再生中に [☐] OPTIONS (オプション) ボタンを押し、その後 [**OK**] ボタンを押してオプションを選択します。

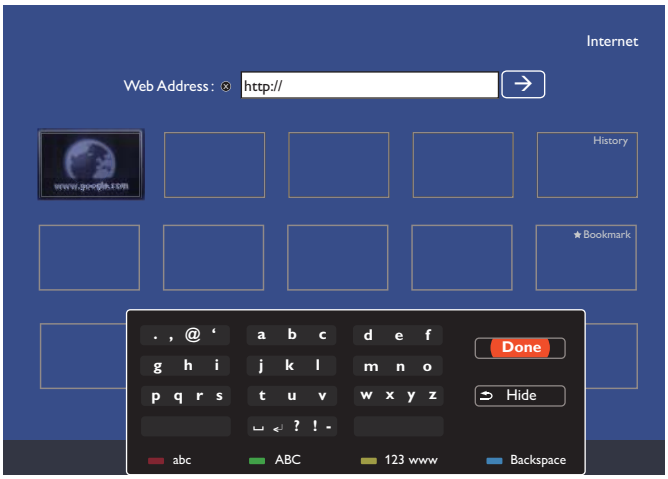
- {Shuffle} (シャッフル): スライドショーでの画像のランダム表示を有効または無効にします。
- {Repeat} (リピート): スライドショー を繰り返し鑑賞する場合は {Repeat} (リピート) を選択し、一回だけ鑑賞する場合は {Play once} (一回のみ再生) を選択します。
- {Slideshow Time} (スライドショー時間): スライドショー での写真の表示時間を設定します。
- {Slideshow Transitions} (スライドショートランジション): スライドが切り替わるときのスタイルを設定します。

4.6. Opera ブラウザ (HTML5) の使い方

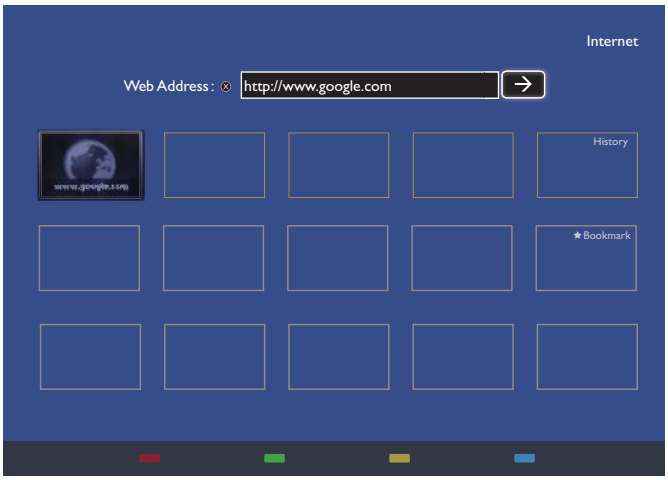
1. [⮆] ソースボタンを押して、**Internet (インターネット)** を選択し [**OK**] ボタンを押します。



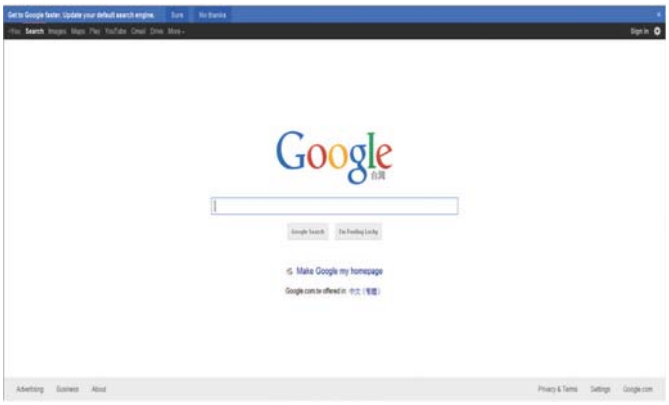
2. カーソルを URL アドレスバーまで移動させます。[**OK**] ボタンを押すとスクリーン上にキーボードが表示されます。カーソルを動かして URL アドレスを入力します。URL アドレスの入力が終了したら **Done (完了)** を選びます。



3. カーソルを「→」アイコンに移動して [**OK**] ボタンを押します。。



4. ウェブサイトが表示されます。

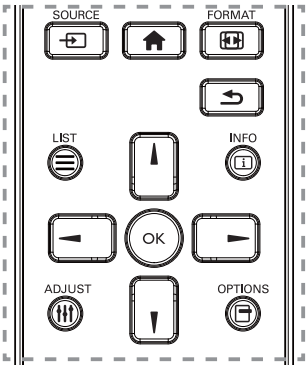


メモ :

- Opera ブラウザ は FLASH 形式に対応していません。
- ブラウザはビデオソースではありません。本ディスプレイを再起動した後は、ウェブサイトの画面には戻りません。

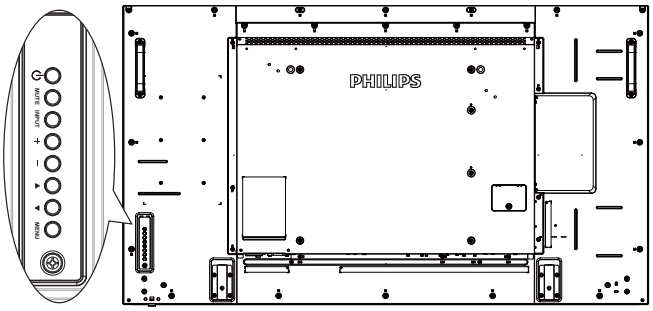
5. 設定を変更するには

リモコンを使用する



1. OSD メニューを表示するには [⌂] **ホーム**ボタンを押します。
2. [▲] [▼] [◄] または [►] ボタンを押してメニュー項目を選択、または値を調整します。[OK] ボタンを押して決定します。
3. 前のメニュー層に戻るには [⮌] 戻るボタンを押します。
4. OSD メニューを退出するには [⌂] ホームボタンを押します。

ディスプレイのコントロール ボタンを使用する



1. OSD メニューを表示するには [**MENU**] ボタンを押します。
2. [▲] [▼] [+] または [—] ボタンを押してメニュー項目を選択、または値を調整します。
3. [**INPUT**] ボタンを押して、選択したメニューを確定し、サブメニューに入ります。
4. OSD メニューを退出するには [**MENU**] ボタンを押します。

5.1. 設定（※つながっている信号によって表示される OSD メニューが異なる場合があります。）

[⌂] **ホーム**ボタンを押します。

5.1.1. 画像

画像スタイル

お好みの画像設定を選びます。

バックライト

本製品のバックライトの明るさを調節します。

彩度

画像の彩度を調整します。

シャープネス（※ VGA 入力と DVI 入力に設定した場合は、この項目は設定できません。）

画像の鮮明さを調整します。

ノイズリダクション

画像のノイズ除去の度合いを選びます。

MPEG ブロックノイズリダクション

デジタル画像のトランジションやぼやけを滑らかにします。

画像エンハンスメント

周囲の画素に馴じむように全ての画素を微調整することで、鮮明で高解像度な画像を作成します。

- { **高度な鮮明度** }: 優れた画像鮮明度で、特に画像の線や輪郭に有効です。
- { **ダイナミックコントラスト** }: 画像の暗いエリア、中位のエリア、明るいエリアの詳細をダイナミックに補強します。
- { **カラーエンハンスメント** }: 色彩の鮮明さと詳細をダイナミックに補強します。

詳細設定

ガンマ、色合い、動画のコントラストなどの詳細設定にアクセスします。

- { **ガンマ** }: 画像の輝度やコントラストに関連した非線形性の設定を調節します。
  オプションは、{ **自然** }、{S **ガンマ** }、{2.2}、{2.4}、{D-image} です。
  注：{D-image} は、X 線写真に対する DICOM 曲線をシミュレートするものです。
- { **ビデオコントラスト** }: 動画のコントラストを調整します。
- { **輝度** }: スクリーンの明るさを調整します。
- { **色相** }: スクリーンの色合いを調整します。

スキャンモード

本製品の画像領域を変更します。

表示調整

- { **画像形式** }: 画像フォーマットを変更します。
- { **ズーム** }: 画像の縦と横のサイズを同時に拡大します。
- { **水平ズーム** }: 画像の水平サイズのみを拡大します。
- { **垂直ズーム** }: 画像の垂直サイズのみを拡大します。

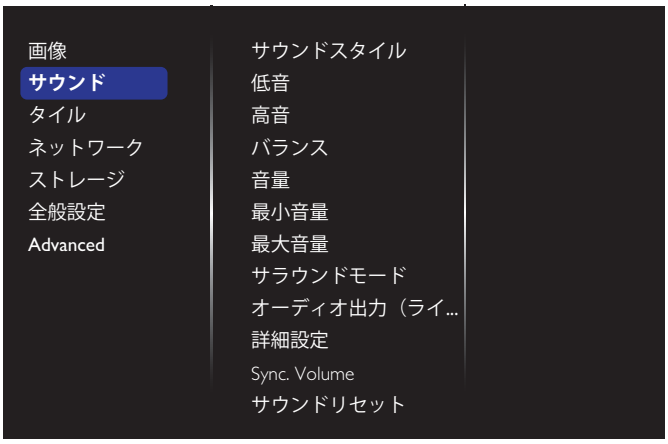
注：画像形式が CUSTOM ZOOM に設定されている場合のみ、ズーム、水平ズームおよび垂直ズームが機能します。

画像形式に関する記述は 18 ページを参照してください。

画像リセット

画像設定を工場出荷時の設定に戻します。

5.1.2. サウンド



サウンドスタイル
お好みの音声設定にアクセスします。

低音
低音の増減を調整します。

高音
高音の増減を調整します。

バランス
左右の音声出力のバランスの強弱を調整します。

音量
ボリュームの増減を調整します。

最小音量
最小音量を設定します。

最大音量
最大音量を設定します。

サラウンドモード
オーディオパフォーマンスのサラウンド効果を設定します。

オーディオ出力 (ライン出力)
音声出力の音量を調節します。

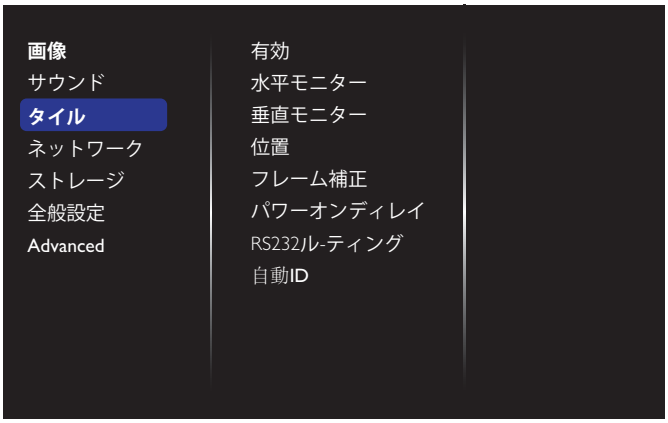
詳細設定
詳細設定にアクセスして視聴体験を向上させます。

- { **オートボリューム** : 突発的な音量変更の軽減を有効にします。
- { **スピーカー設定** }: 内部スピーカーの電源をオンまたはオフにします。
- { **クリアサウンド** }: 音質を向上させます。

Sync.Volume (同期音量)
同期の { **オン** } または { **オフ** } を選択します。音量機能。{ **オン** } に設定して、内部スピーカーとライン出力の音量を同期します。{ **オフ** } に設定して、内部スピーカーとライン出力の音量をそれぞれ調整します。

サウンドリセット
デフォルト設定にリセットします。

5.1.3. タイル



この機能を使うと、最大 225 台のディスプレイ (縦に最大 15 台、横に最大 15 台) からなるひとつの大型スクリーン配列 (ビデオウォール) で作成することができます。

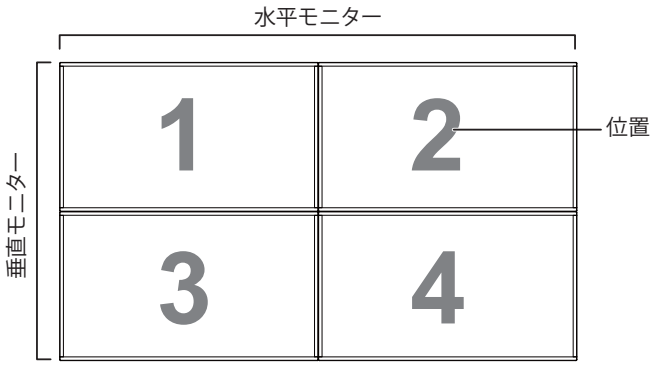
有効
タイル機能の { **オン** } または { **オフ** } を選択します。{ **オン** } の場合、本製品は { **水平モニター** }、{ **垂直モニター** }、{ **位置** }、および { **フレーム補正** } を有効にします。

水平モニター
横列のディスプレイを調節します。

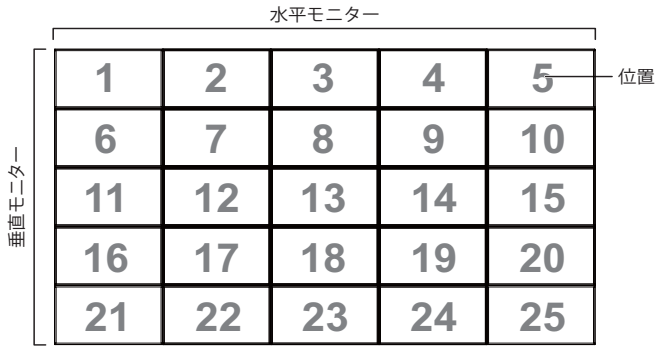
垂直モニター
縦列のディスプレイを調節します。

位置
スクリーン配列でディスプレイの位置を調節します。

例：2 x 2 の画面マトリックス（ディスプレイ 4 台）
水平モニター = ディスプレイ 2 台
垂直モニター = ディスプレイ 2 台



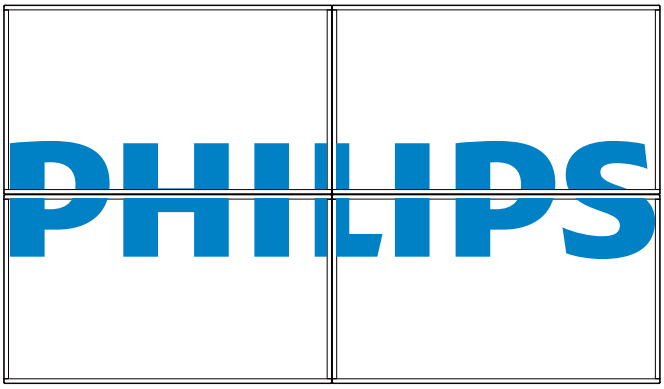
例:5 x 5 の画面マトリックス(ディスプレイ 25 台)
水平モニター = ディスプレイ 5 台
垂直モニター = ディスプレイ 5 台



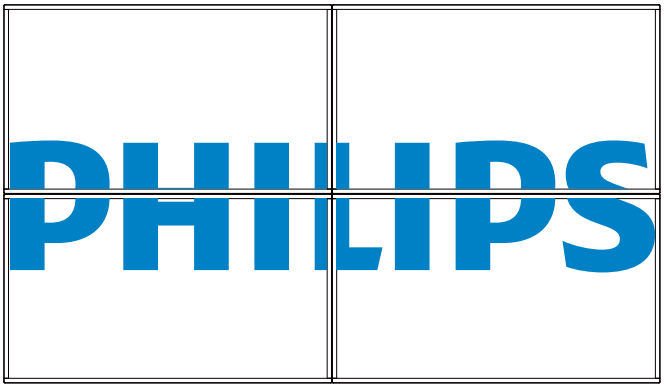
フレーム補正

フレーム補正機能のオンまたはオフを選択します。{ **オン** } を選択した場合、画像を正確に表示するためにディスプレイは画像を調整してディスプレイのベゼル幅を補正します。

{ **オン** }



{ **オフ** }



パワーオンディレイ

パワーオンディレイ時間 (秒) を調節すると、複数のディスプレイが接続されている場合に、ID 番号ごとに各ディスプレイの電源を順番に入れることができます。

RS232 ルーティング

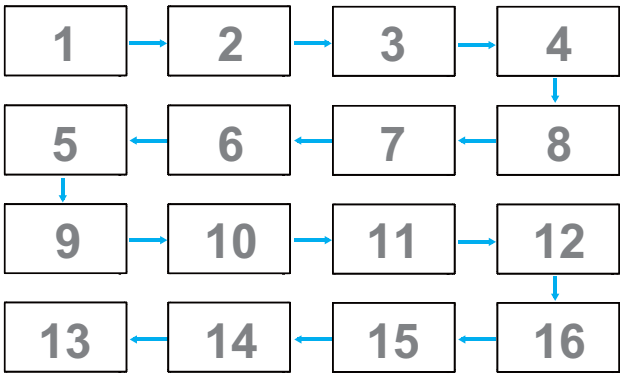
Card OPS の RS232 コントロールまたは PD セットの組み込み RS232 を選択します。

注:最初のデバイス用の制御信号を設定します。また、最初のデバイスだけではなく、すべてのデバイスを RS232 として設定する必要があります。

自動 ID

設定機能により、{水平モニター} 設定に応じて接続されたディスプレイの {モニタ ID} を設定することができます。

例:水平モニターを 4 として設定します



注:この機能を使用するには、すべてのディスプレイを RS-232 ケーブルでシリアル接続し、そのネットワーク制御ポートを RS-232 に設定します。

注:DP 1.2 接続に対してこの機能を使用するために、最大解像度は、1920x1080/60Hz @ 4 セットのみをサポートします。4Kx2K/30Hz 解像度の場合、2 セットの接続のみをサポートします。

5.1.4. ネットワーク

ネットワーク設定

{ **ネットワーク構成** }: 本製品のネットワーク リソースへのアドレスの割り当て方を選択します。

{DHCP と自動 IP} (推薦) または { **固定 IP**} を選択できます。

DMR (Digital Media Renderer)

ネットワークを経由して、接続されたデバイスからマルチメディアファイルを受信します。

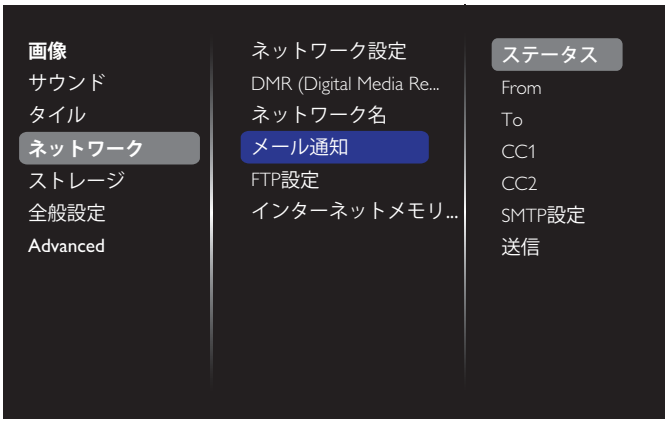
ネットワーク名

複数のディスプレイが接続されている場合、各ディスプレイの名前を変更して識別しやすくできます。

名前を入力するには、スクリーン上のキーボードまたはリモコン上のキーパッドを使用します。

メール通知

メール通知は、温度および入力ソース信号イベントをサポートします。これはメールを送信し、温度が高すぎる、または、信号を喪失した時に通知します。



- {From} (発信元): ご自身のメールアドレスを入力します。
- {To} (宛先): メールを送信する 1 番目の受信者のメールアドレスを「To」フィールドに入力します。
- {CC1}: メールを送信する 2 番目の受信者のメールアドレスを「CC1」フィールドに入力します。
- {CC2}: メールを送信する 3 番目の受信者のメールアドレスを「CC2」フィールドに入力します。
- {SMTP 設定}: アカウントの追加と削除、または、既存の接続設定を変更します。
- {Username} (ユーザー名): メールアカウントです。
- {Password} (パスワード): このメールアカウントのパスワードです。
- {SMTP サーバー}: メールサーバーの URL です。
- {送信}: 自分自身にテストメールを送信します。

注:

- この機能は、有効なインターネット接続を必要とします。
- SMTP アドレスは、smtp:// で始まります。例えば、smtp://smtp.example.com です。
- すべてのメールを送信するために、外部 SMTP リレーの使用に関する勤務先の社内セキュリティ方針を確認してください。許可されない場合があります。

FTP 設定

アカウントの追加と削除、または、既存の接続設定を変更します。

- {SmartCMS}:SmartCMS 用の FTP ユーザー名とパスワードを設定します。
- {USB AutoPlay}: (USB 自動再生) USB 自動再生 用の FTP ユーザー名とパスワードを設定します。

注:SmartCMS および USB 自動再生 機能を使用して、USB コピーの代わりに FTP により、メディアファイルをアップロードすることができます。

自動ファームウェアアップグレード

フィールド内のデバイスは、システムおよびアプリケーションソフトウェアに対する無線 (OTA) 更新を受信・インストールすることができます。

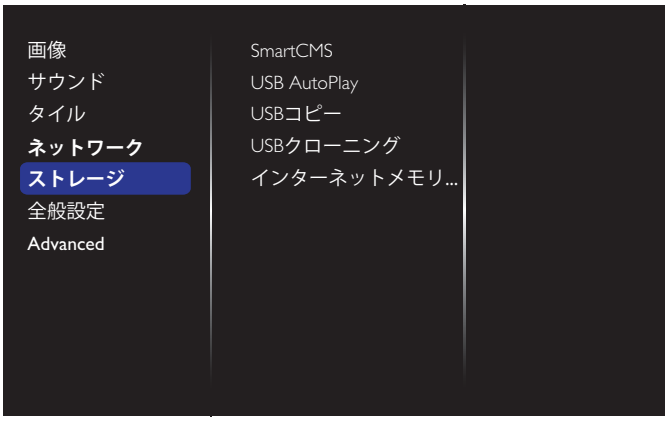
注:

- 自動ファームウェアアップグレード選択は、オフ、01:00、..23:00、00:00 が利用可能です。デフォルトはオフです。
- 自動ファームウェアアップグレードを特定時刻に設定すると、新しいファームウェアバージョンがある場合、自動的にバックグランドでダウンロードします。
- 新しいバージョンのファームウェアをダウンロードした後、パネルがオフである場合 (Eco モード (ノーマル))、自動的に設定した時刻に実行可能なインストーラを実行します。

インターネットメモリを消去

クッキー、ブックマーク、履歴一覧やオートフィルで使用したデータをすべて消去します。

5.1.5. ストレージ



SmartCMS

SmartCMS 用のコンテンツのデフォルトストレージの位置を選択します。

- { 内部 }: 内部ストレージをデフォルトとして設定します。
- { 外部 }: 外部ストレージをデフォルトとして設定します。

USB AutoPlay (USB 自動再生)

USB 自動再生 用のコンテンツのデフォルトストレージの位置を選択します。

- { 内部 }: 内部ストレージをデフォルトとして設定します。
- { 外部 }: 外部ストレージをデフォルトとして設定します。

USB コピー

- USB コピーは、内部メモリと USB フラッシュデバイス間でメディアファイルを転送することができます。また、インターネットに対する URL をインポートする簡単な方法を提供します。
- { インポート }:USB フラッシュデバイスから内部メモリにメディアファイルと URL リストをインポートします。
- { エクスポート }: 内部メモリから USB フラッシュデバイスにメディアファイルと URL リストをインポートします。

USB クローニング

ユーザー設定をインポート / エクスポートします。

- { インポート }: ユーザー設定を USB フラッシュデバイスからインポートします。
- { エクスポート }: ユーザー設定を USB フラッシュデバイスにバックアップします。

インターネットメモリを消去

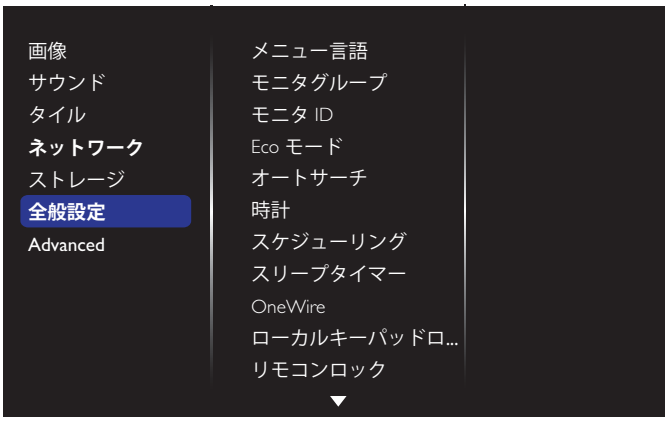
音楽および写真を含む内部ストレージの全データを削除します。

注:

- AutoPlay 用の USB コピーのインポート機能を使用する前に、新しいフォルダーを作成し、それに「philips」と名前を付けます。すべてのメディアファイルを AutoPlay 用の特定フォルダーに入れます。
- URL 用の USB コピーのインポート機能を使用する前に、新しいテキストドキュメントを作成し、それに「url_schedulinglist.txt」と名前を付けます。URL を入力する時は、次の形式に従わなければなりません :「スケジューリング番号 , URL アドレス」。
- 例えば、スケジュール 1 とスケジュール 2 の URL をそれぞれ www.google.com と tw.yahoo.com に設定します。

  1、www.google.com 2、tw.yahoo.com

5.1.6. 全般設定



メニュー言語

OSD メニューで使用する言語を選びます。

モニタグループ

グループ範囲を 1 から 255 の値に調節します。デフォルト設定は 1 です。

モニタ ID

RS232 接続経由で本製品を操作するために ID 番号を調節します。本製品を複数台接続する場合には、各ディスプレイに一意の ID を割り当てることが必要です。モニターの ID 番号範囲は 1 ～ 255 の間です。デフォルト設定は 1 です。

Eco モード

自動的に消費電力を低減するように本製品を設定します。

オートサーチ

選択すると、本製品で利用可能な信号ソースを自動で検出して表示します。

時計

本製品の内部時計に設定された現在の日付と時刻を設定します。

スケジューリング

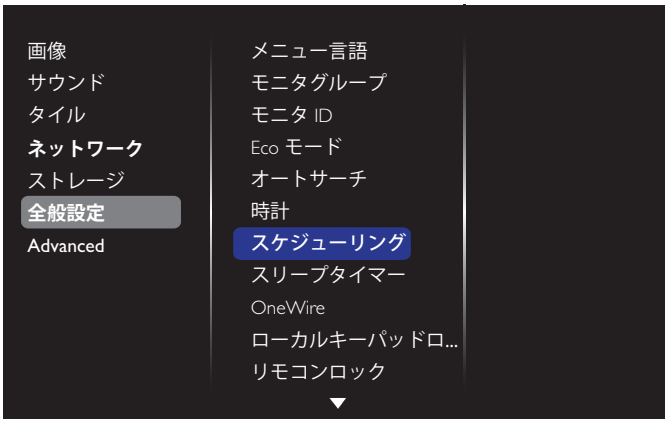
この機能を使うと、最大 7 つの異なるスケジュール間隔で本製品を作動することができます。

以下の設定が可能です。

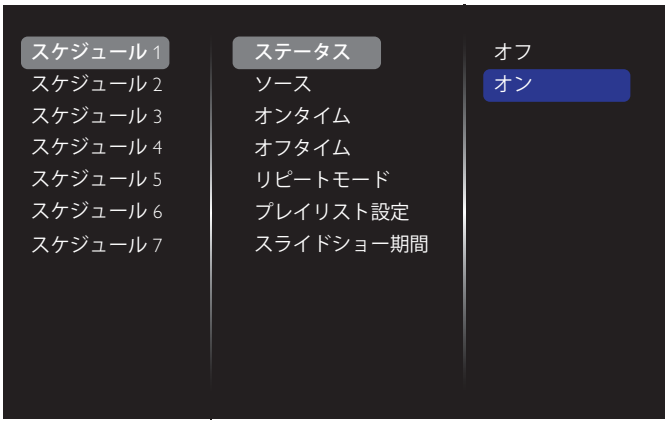
- スケジュールされた各稼働期間で、本製品がどの入力ソースを使用するか。
- 本製品を電源オン、電源オフにする時間。
- 本製品をアクティブにする曜日。

注:

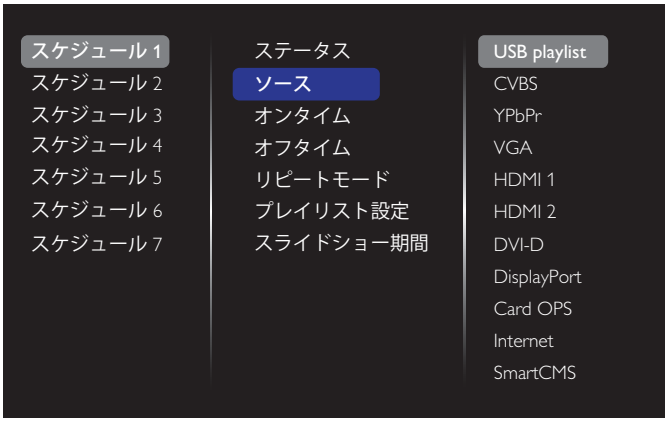
- この機能を使用する前に、{ **時計** } メニューで現在の日付と時刻を設定することをおすすめします。
- { **全般設定** } メニューにある { **時計** } オプションを変更した後、この { **スケジューリング** } をもう 1 度設定する必要があります。



1. 7 つのスケジュールを設定できます。**ステータス**で**オン**を選択します。



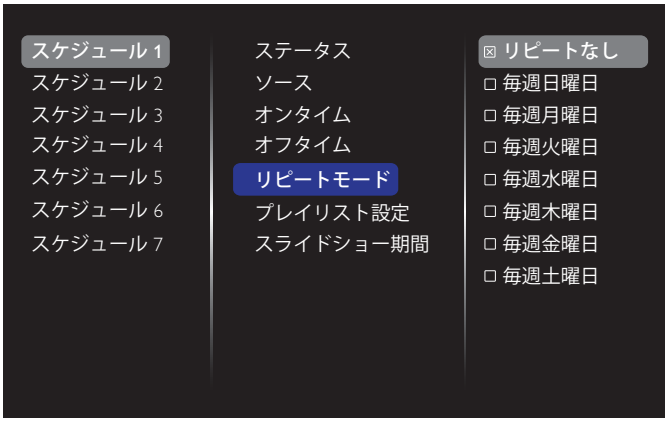
2. **ソース**で入力ソースを選びます。
{ **ソース** } → {USB Playlist} (**USB プレイリスト**) が選択されます。プレイリストを設定する必要があります。
{ **ソース** } → {Internet} (**インターネット**) が選択されます。URL アドレスを設定する必要があります。
{ **ソース** } → {USB AutoPlay} (**USB 自動再生**) が選択された場合。USB に「philips」と名前を付けたフォルダーを作成し、すべてのメディアファイルを AutoPlay 用の特定フォルダーに入れる必要があります。



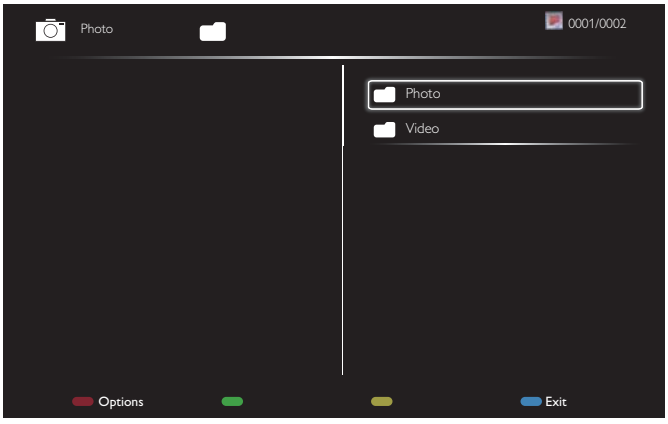
3. **オンタイム**を設定します。

4. **オフタイム**を設定します。

5. **リピートモード**を選択します。

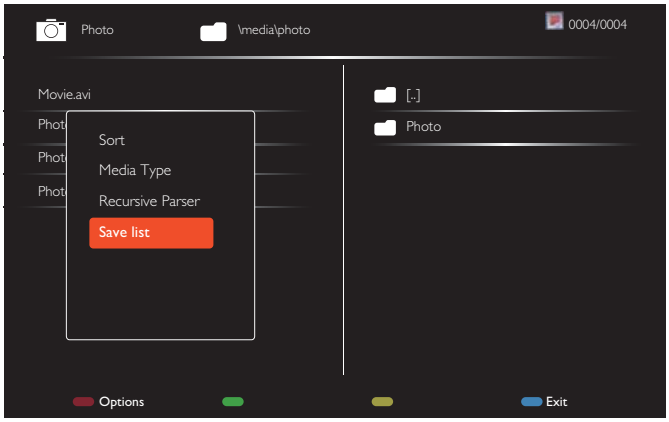


6. { **ソース** } → {USB **プレイリスト** } が選択されます。**プレイリスト設定**に移動します。



- [▲] [▼] ボタンを押してファイルを選択します。
- [◄] [►] ボタンを押して、プレイリストとファイルマネージャーとを切り替えます。
- [OK] ボタンを押してプレイリストを設定または消去します。

7. プレイリストを保存するには、[▬] を押して **Save list** を選択します。



注:

- それぞれのプレイリストは最大 30 ファイルまで対応しています。
- { **工場出荷時の設定** } を選択してもプレイリストは消去されません。ファイルを手動で削除するか、USB 内にある usb_schedulinglist.txt を削除する必要があります。

スリープタイマー

指定した時間に本製品の電源を切ります。

OneWire

本製品の HDMI-CEC 規格に対応したデバイスを HDMI 端子で接続し、同じリモコンを使って操作します。

ローカルキーパッドロック

本製品のキーボード (コントロールボタン) 機能を有効または無効にします。

- { **ロック解除** }: キーボード機能を有効にします。
- { **すべてロック** }: 全てのキーボード機能をロックします。
- { **音量以外すべてロック** }:[ー] および [＋] ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。
- { **電源以外すべてロック** }:[⏻] ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。
- { **音量と電源以外すべてロック** }:[ー]、[＋] および [⏻] ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。

リモコンロック

リモコンのボタン機能を有効または無効にします。

- { **ロック解除** }: キーボード機能を有効にします。
- { **すべてロック** }: 全てのキーボード機能をロックします。
- { **音量以外すべてロック** }:[ー] および [＋] ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。
- { **電源以外すべてロック** }:[⏻] 電源ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。
- { **音量と電源以外すべてロック** }:[ー] [＋] および [⏻] 電源ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。

注 : **ローカルキーパッドロック**または**ロック解除**のロック機能を無効にするには、リモコンの [⌂] ボタンと **1 9 9 8** を押します。

ピクセルシフト

ビデオ入力ソースに対して、30 秒間本製品を使用しなかった場合に生じる「焼き付き」や「後イメージ」からディスプレイを保護するために、{ **オン** } を選択してスクリーンのイメージを自動的に動かすことができます。

スマートパワー

動的電力消費および画像コントラストを最適化するため、バックライトのレベルを選択します。

オプションは次の通りです。{ **オフ** }、{ **標準** }、{ **中** }、{ **高** } から選択します。

Wake on lan

{ **オン** } を選択すると、ネットワーク経由でディスプレイをオンにできます。

スイッチオン状態

次に電源コードを取り付けた際に表示されるディスプレイの状態を選びます。

- { **オン** } - 電源コードを取り付けた後、画面はオンの状態になります。
- { **スタンバイ** } - 電源コードを取り付けた後、画面はスタンバイの状態になります。
- { **最新ステータス** } - 電源コードを外して再び取り付けると、ディスプレイは前の電源状態 (オン / オフ / スタンバイ) に戻ります。

電源 LED ライト

インジケータをオフにするには { **オフ** } を選択します。

ロゴ表示

{ **オフ** } を選ぶと、本製品に電源を入れた時に**PHILIPS**ロゴが表示されなくなります。

オプションは、**オフ**、**オン**、および**ユーザー**です。

注 : ユーザーオプションの場合、ロゴファイル (*.png) を USB フラッシュデバイスにコピーし、それに「WelcomeLogo.png」と名前を付ける必要があります。その後、ストレージに移動し、USB コピーを選択し、インポートを選んで、[OK] を押します。

APM

{ **オン** } を選択します。信号が存在しない場合には、本製品の電源が自動的にオフになります。

ソース通知

[⏻] **電源**ボタンを押して本製品をスタンバイモードからオンにしたり入力信号を変更した場合には、インフォメーション OSD がスクリーンの左上隅に表示されます。

この機能をオフにするには { **オフ** } を選択します。

DisplayPort Ver. (DisplayPort バージョン)

DisplayPort バージョンを 1.1a または 1.2 に設定します。この設定は DisplayPort の入力と出力でのみ有効です。

1.1a:DisplayPort バージョンを 1.1a (デフォルト) に切り替えます。DisplayPort 出力は DisplayPort 入力のクローンです。

1.2:DisplayPort バージョンを 1.2 に切り替え、MST (マルチストリーム移送) をサポートします。

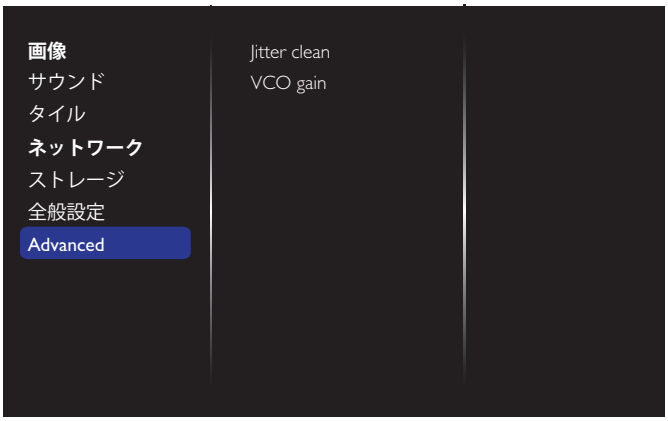
注 : DisplayPort ソースの下で画面が暗くなったり、異常な状態になった場合、1.1a に切り替え、電源を入れ直してください。

工場出荷時の設定

カスタマイズされた全ての設定を工場出荷時の設定に戻します。

5.1.7. Advanced

ここでは、画質を改善するために、HDMI および DVI 設定を行うことができます。



Jitter clean (ジッタ除去)

HDMI および DVI 信号の品質を改善するために、ジッタ除去機能のオン / オフを切り替えます。デフォルト設定は On です。

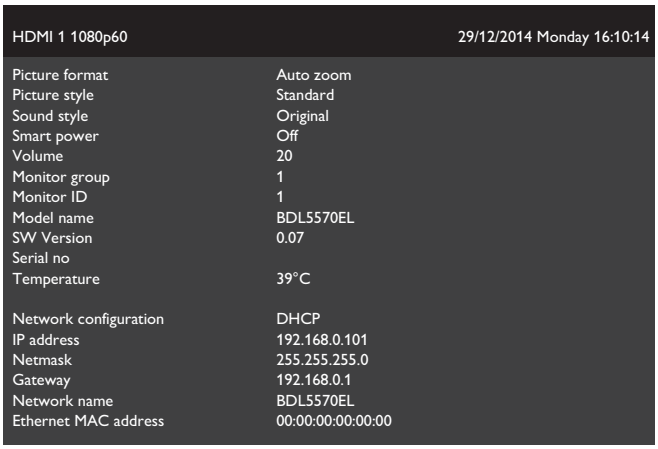
VCO gain (VCO ゲイン)

自動または手動で VCO ゲインを調整します。デフォルト設定は AUTO です。

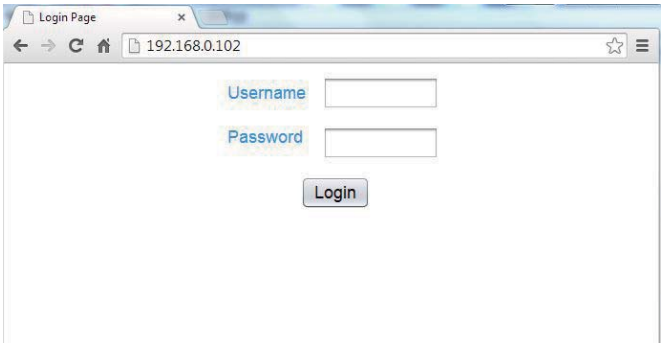
注 :HDMI 入力からの信号が不安定で、画像を喪失する場合、良好な画像を得るために VCO ゲインを調整することができます。

5.1.8. ウェブコントロール

A. ネットワークに接続していることを確認します。情報ボタンを押し、ネットワークの接続を表示できます。

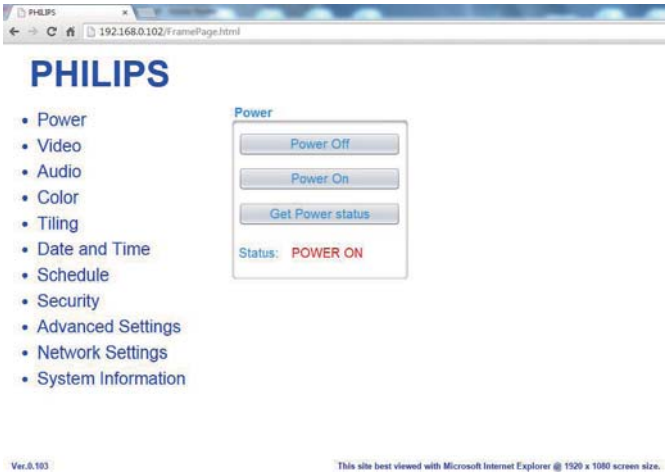


本製品 に接続したコンピュータで、まず、ウェブブラウザを開きます。そして、ウェブアドレスフィールドにネットワーク管理用の 本製品のアドレス (192.168.0.101) を入力し、Enter を押して、ウェブコントロールのホームページにアクセスします。



注 : デフォルトユーザー名は admin、パスワードは 1234 です。

B. ウェブコントロールのデフォルトメインページは電源ページです。これは、ディスプレイをオンに切り替えたり、または、ディスプレイをスタンバイにする簡単な方法を提供します。



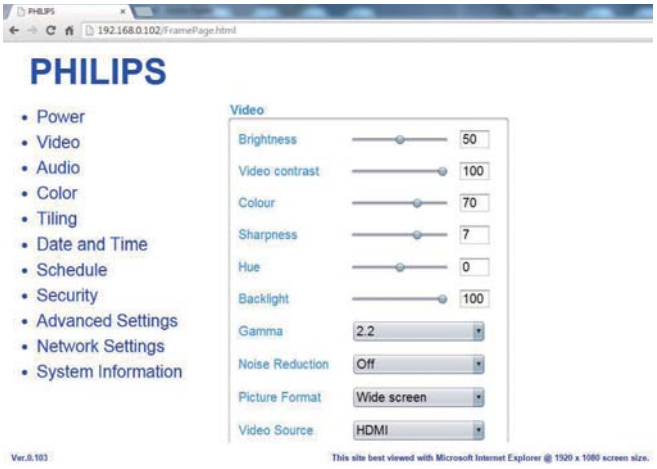
電源オフ : ディスプレイをスタンバイにします。

電源オン : ディスプレイをオンにします。

電源ステータスの取得 : このボタンをクリックして、ディスプレイのステータスを取得します。

注 : 電源オン機能は、Eco モードをノーマルに設定した後でのみサポートされます。

C. ビデオをクリックして、ビデオページに切り替えます。これは、ビデオ設定を簡単に調整する方法を提供します。



輝度 :LCD パネルのバックライトのブライトネスを変更することにより、画像全体の明るさを調整します。0 (最小) から 100 (最大) まで。

ビデオコントラスト : 映像品質をシャープにするよう調整します。映像の黒い部分はより深みを増し、白い部分はより明るくなります。0 (最小) から 100 (最大) まで。

色 : 画像の色の濃さを増減するように調整します。0 (最小) から 100 (最大) まで。

鮮明度 : 画像内容を改善するよう調整します。0 (最小) から 100 (最大) まで。

色合い : スクリーンの色合いを調整します。-50 (最小) から 50 (最大) まで。

バックライト : 本製品のバックライトの明るさを調節します。0 (最小) から 100 (最大) まで。

ガンマ : 画像の輝度やコントラストに関連した非線形性の設定を調節します。1 (最小) から 4 (最大) まで。

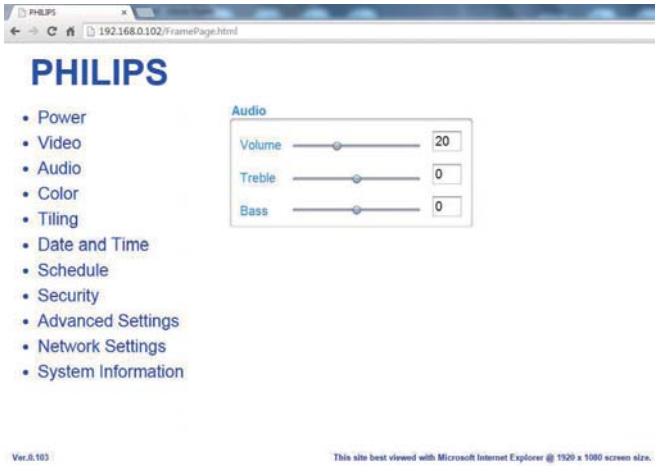
ノイズリダクション : 画像のノイズを除去するよう調整します。適切なノイズ除去レベルを選択できます。以下から選択します : オフ / 低 / 中 / 高

画像形式 : 本製品の画像領域を変更します。適切な形式を選択することができます。以下から選択します : 自動ズーム / ムービーを 16:9 に拡大 / ワイドスクリーン / アンシールド /4:3

ビデオソース : 入力ソースを選択します。USB/ ネットワーク / インターネット /SmartCMS/CVBS/YPbPr/VGA/HDMI/DVI-D から選択します

自動調整 : 自動調整機能を使って、画像の表示位置を自動的に最適化します。

D. オーディオをクリックして、オーディオページに切り替えます。これは、オーディオ設定を簡単に調整する方法を提供します。

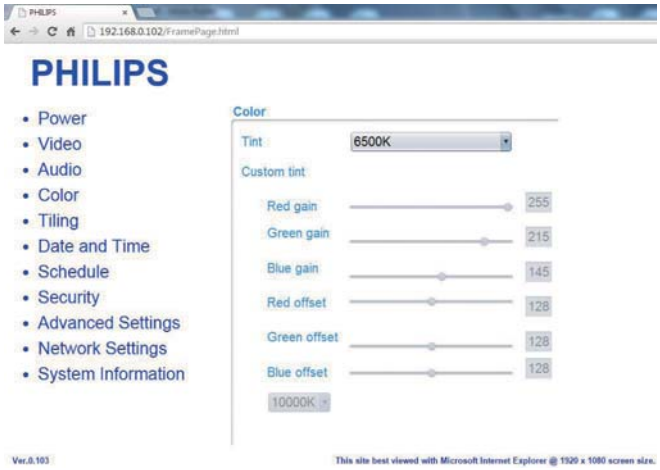


音量 : ボリュームの増減を調整します。0 (最小) から 60 (最大) まで。

高音 : 高音の増減を調整します。-8 (最小) から 8 (最大) まで。

低音 : 低音の増減を調整します。-8 (最小) から 8 (最大) まで。

E. 色をクリックして、色ページに切り替えます。これは、色設定を簡単に調整する方法を提供します。

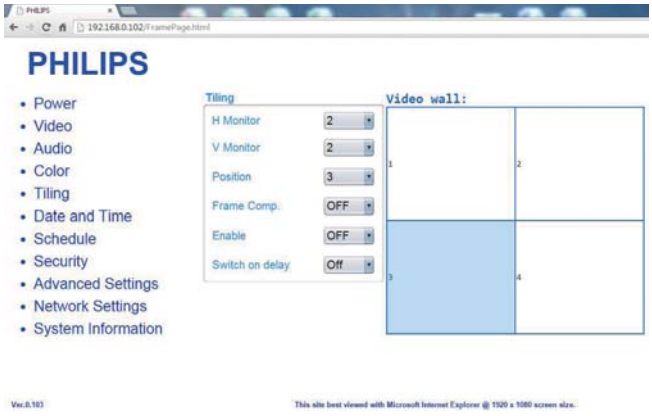


濃淡 : カラーバランスを変更します。寒色 / 標準 / 暖色 / カスタムから選択します

カスタム色合い : この機能により、R (赤)、G (緑)、B (青) 設定を個別に変化させることで、画像の色調を正確に調整できます。

注 : カスタム色合いは、濃淡がカスタムに設定されている場合のみ利用可能です。

F. Tiling をクリックして、Tiling ページに切り替えます。この機能を使うと、最大 225 台のディスプレイ (縦に最大 15 台、横に最大 15 台) からなるひとつの大型スクリーン配列 (ビデオウォール) で作成することができます。



水平モニター : 横列のディスプレイを調節します。

垂直モニター : 縦列のディスプレイを調節します。

位置 : スクリーン配列でディスプレイの位置を調節します。

フレーム補正 : フレーム補正機能のオンまたはオフを選択します。

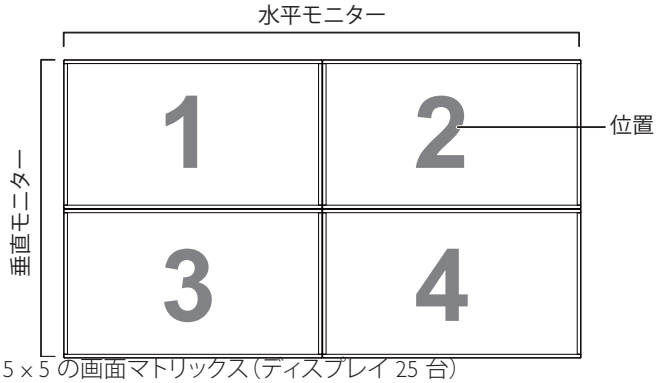
有効 : タイル機能の { オン } または { オフ } を選択します。

パワーオンディレイ : パワーオン遅延時間を調整することで、各ディスプレイを順番にパワーオンすることができます。

注 :

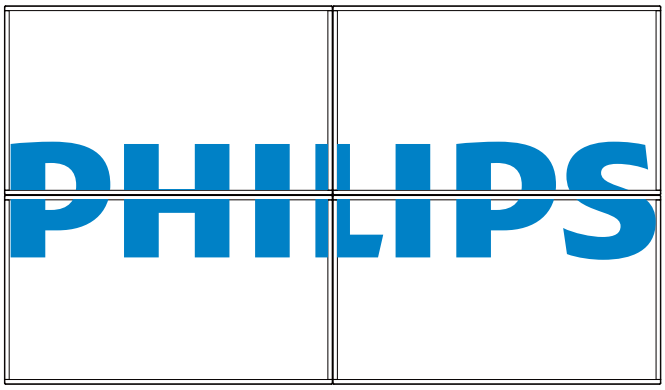
2 x 2 の画面マトリックス (ディスプレイ 4 台)

水平モニター = ディスプレイ 2 台
垂直モニター = ディスプレイ 2 台

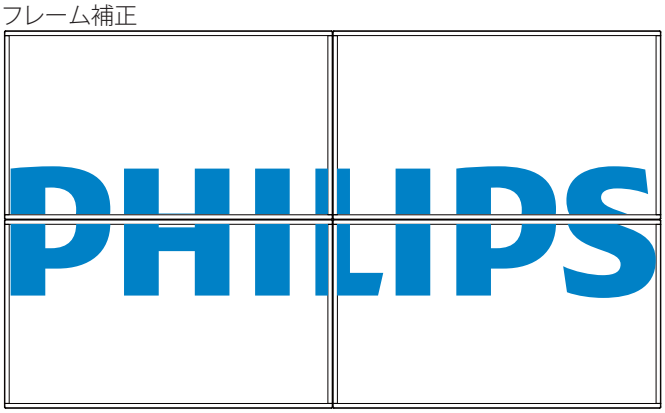


5 x 5 の画面マトリックス (ディスプレイ 25 台)
水平モニター = ディスプレイ 5 台
垂直モニター = ディスプレイ 5 台

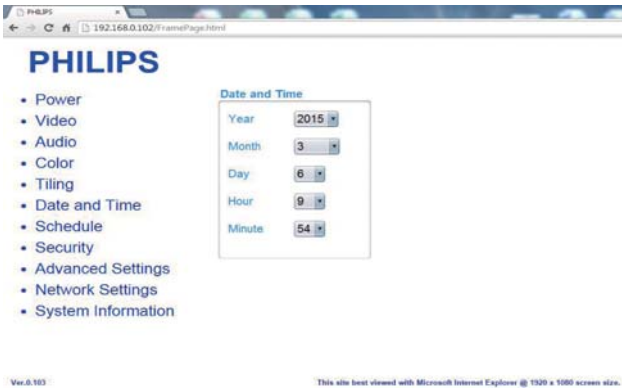
フレーム補正 オン



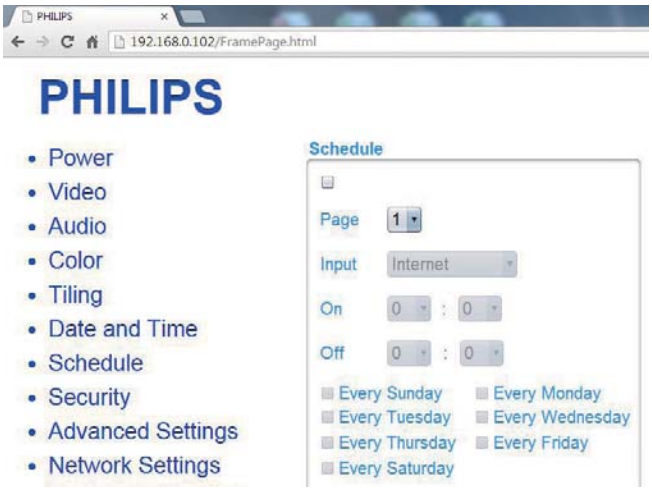
フレーム補正



G. 日付と時刻をクリックして、日付と時刻ページに切り替えます。これは、ディスプレイの内部時計の日付と時刻を簡単に設定する方法を提供します。



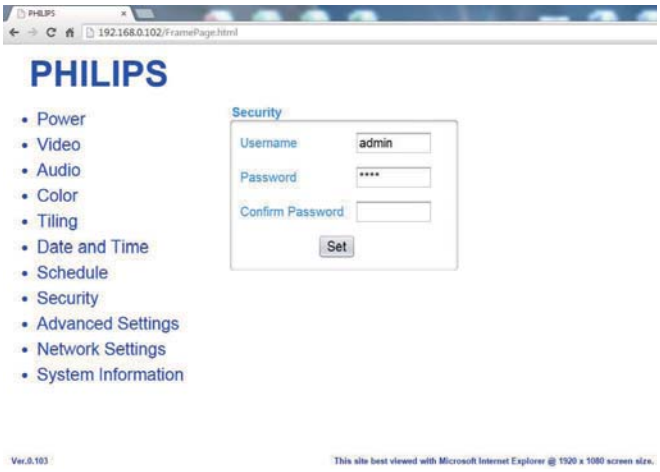
H. スケジュールをクリックして、スケジュールページに切り替えます。この機能を使うと、最大 7 つの異なるスケジュール間隔で本製品を作動することができます。



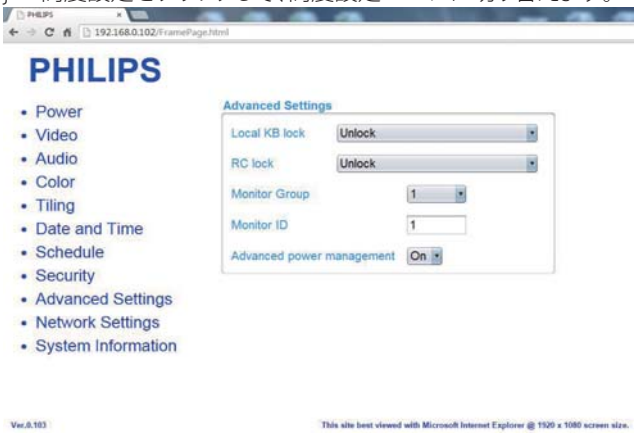
注 : スケジューリング設定に関する詳細説明については、21 ページのスケジューリングを参照してください。

I. セキュリティをクリックして、セキュリティページに切り替えます。これは、ユーザー名とパスワードを簡単に変更する方法を提供します。

ユーザー名とパスワードフィールドに新しいユーザー名とパスワードを入力し、その後、設定ボタンをクリックして、新しいユーザー名とパスワードを設定します。



J. 高度設定をクリックして、高度設定ページに切り替えます。



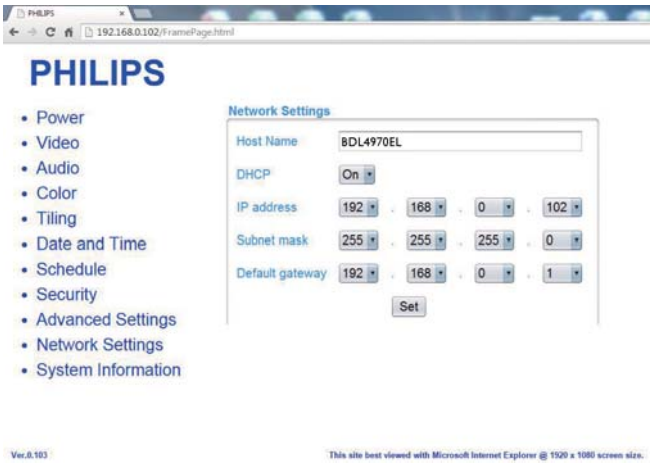
ローカルキーパッドロック : 本製品のキーボード (コントロールボタン) 機能を有効または無効にします。

リモコンロック : リモコンのボタン機能を有効または無効にします。

モニタグループ : グループ範囲を 1 から 255 の値に調節します。デフォルト設定は 1 です。

モニタ ID:RS232 接続経由で本製品を操作するために ID 番号を調節します。本製品を複数台接続する場合には、各ディスプレイに一意の ID を割り当てることが必要です。モニターの ID 番号範囲は 1 ～ 255 の間です。デフォルト設定は 1 です。

K. ネットワーク設定をクリックして、ネットワーク設定ページに切り替えます。

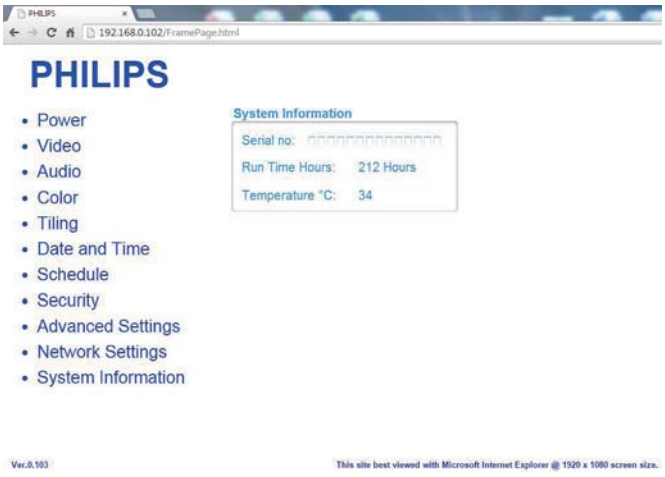


ホスト名 : 複数のディスプレイが接続されている場合、各ディスプレイの名前を変更して識別しやすくできます。

DHCP: 本製品のネットワーク リソースへのアドレスの割り当て方を選択します。(オン :DHCP と自動 IP、オフ : 固定 IP)。DHCP がオンに設定されている場合、デバイスは、起動するたびに、アドレスを要求し、割り当てられます。そうでない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を依頼する必要があります。

L. システム情報をクリックして、システム情報ページに切り替えます。

ディスプレイ情報を取得する。シリアル番号、動作時間および温度を RS232/ ネットワークを介して取得します。



注：

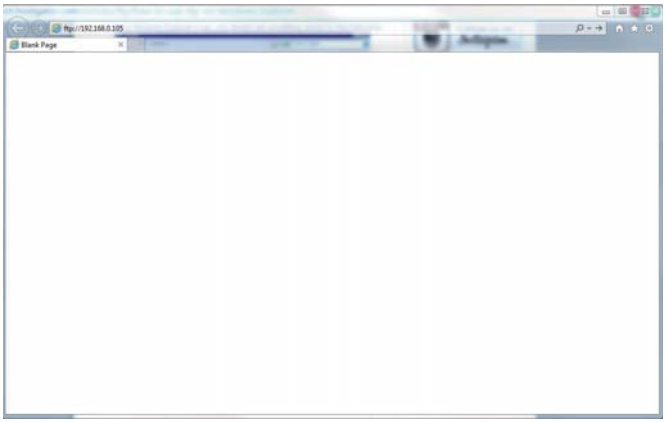
1. 一部のブラウザの問題は、ブラウザ自身により引き起こされている可能性があります。最適な表示およびセキュリティのために、ブラウザを最新維持することをお勧めします。
2. ウェブコントロールの最適な性能を実現するために IE の使用を推奨します。

5.1.9. FTP サーバー

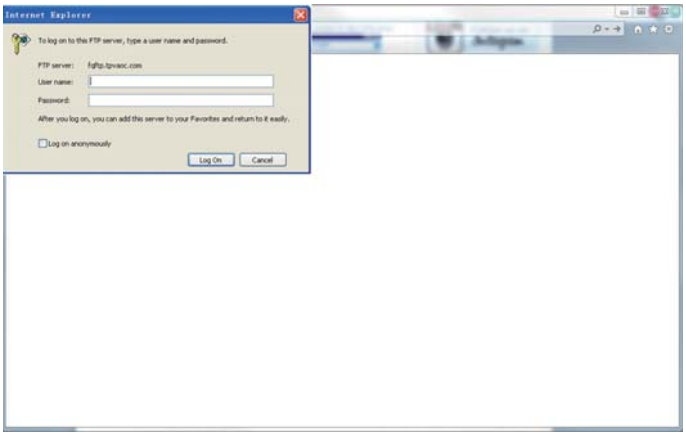
A. ネットワークに接続していることを確認します。情報ボタンを押し、ネットワークの接続を表示できます。

HDMI 1 1080p60	26/09/2014 Friday 16:10:14
Picture format	Wide screen
Picture style	Standard
Sound style	Personal
Smart power	Off
Volume	0
Monitor group	1
Monitor ID	1
Model name	BDL5570EL
SW Version	1.51
Serial no	
Temperature	25°C
Network configuration	DHCP & Auto IP
IP address	192.168.1.116
Netmask	255.255.255.0
Gateway	192.168.1.1
Network name	BDL5570EL
Ethernet MAC address	FF:FF:FF:FF:FF:FF

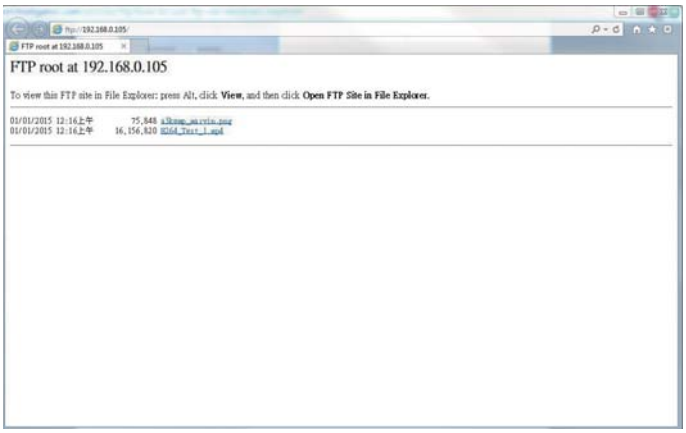
B. Internet Explorer を開き、アドレスバーに FTP サイトのアドレスを入力します。



C. 接続するアカウント用のユーザー名とパスワードを入力し、**ログオン**をクリックします。



D. FTP 接続が開きました。



注：

1. アドレスは、ftp:// で始まります (http:// で始まることはありません)。
2. 内部メモリの場合、ユーザー名は philips、パスワードは philips です。
3. 外部 USB デバイスの場合、ユーザー名は usb、パスワードは usb です。
4. USB 自動再生 機能を使用して、USB コピーの代わりに FTP により、メディアファイルをアップロードすることができます。

6. USB デバイス互換性

動画 :

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオ コーデック	最大解像度	最大フレーム率 (fps)	最大ビットレート (Mbps)	オーディオ コーデック
.mpg mpeg .vob	PS	MPEG-1	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、MPEG-1、2、2.5 L3、AAC/HE-AAC(v1&v2)、DVD-PCM、AC3
		MPEG-2	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	
.ts	TS	MPEG-2	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、MPEG-1、2、2.5 L3、AAC/HE-AAC(v1&v2)、AC3、E-AC3、Dolby Pulse
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	
		MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p@frame rate=50、60Hz	-	30	
.ts .m2ts .mts .mt2	MaTS TTS	MPEG-2	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、MPEG-1、2、2.5 L3、AAC/HE-AAC(v1&v2)、AC3、E-AC3、Dolby Pulse
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	
		MVC	1920x1080i @ field rate=50、60Hz 1920x1080p @ frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz	-	30	
.ts .m2ts .mts	AVCHD	MPEG-2	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、MPEG-1、2、2.5 L3、AAC/HE-AAC(v1&v2)、AC3、E-AC3、Dolby Pulse
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	
.ts .m2ts .mts	AVCHD	MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz	-	30	MPEG-1(L1&L2)、MPEG-1、2、2.5 L3、AAC/HE-AAC(v1&v2)、AC3、E-AC3、Dolby Pulse
.m4v	M4V	H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	AAC
.ism/ Manifest .mpd	frag MP4	H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	AAC/HE-AAC(v1&v2)、AC3、E-AC3、WMA、WMA-PRO
		MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz	-	30	

.mp4	MP4	MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	AAC/HE-AAC(v1&v2)、AC3、E-AC3、WMA、WMA-PRO
		H.264	1920x1080		30	
		MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz	-	30	
		WMV9/VC1	1920x1080	30p、60i	30	
.mkv .mk3d	MKV	MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、MPEG-1、2、2.5 L3、AAC/HE-AAC(v1&v2)、AC3、E-AC3、WMA、WMA-PRO
		H.264	1920x1080		30	

オーディオ :

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオ コーデック	最大解像度	周波数 (kHz)	最大ビットレート (Mbps)	オーディオ コーデック
.mp3	MP3	-	-	48	384	MPEG-1、2、2.5 L3
.wav(PC)	LPCM	-	-	192	768	LPCM
.aif(mac) .aiff(mac)	LPCM	-	-	192	768	LPCM
.aac .mp4 .m4a	AAC	-	-	48	1024	AAC、HE-AAC(v1&v2)
.pls .m3u	プレイリスト	-	-	-	-	-
.m4a	M4A	-	-	48	1024	AAC、HE-AAC(v1&v2)

静止画 :

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオ コーデック	最大解像度	周波数	最大ビットレート	オーディオ コーデック
jpg/jpeg	JPEG		カラーモード =444 の場合、 ・32,768 X 16128 未満 カラーモード= 422v の場合、 ・16,384x16,128 未満 その他のカラーモードの場合 ・サポートしておりません	-	-	-
BMP	BMP		4096x3072_4bit 2730x2500_8bit 2048x1536_16bit 1500x1200_32bit	-	-	-
png	PNG		4096x3072_4bit 2730x2500_8bit 2048x1536_16bit 1500x1200_32bit	-	-	-
gif	GIF		4096x3072_4bit 2730x2500_8bit 2048x1536_16bit 1500x1200_32bit	-	-	-

注記 :

- 音声及び動画コンテンツが上記の表に記された対応フレーム / 秒以上の標準ビットレート / フレーム率である場合、音声や動画が正常に再生されないことがあります。
- 映像コンテンツが上記の表に記述された比率以上のビットレートやフレーム率である場合、再生すると途切れがちの映像になることがあります。

7. 入力モード

VGA 解像度 :

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
VGA	640	480	60 Hz	25.175 MHz	4:3	ビデオグラフィックアレイ
			72 Hz	31.5 MHz		
			75 Hz	31.5 MHz		
WVGA	720	400	70 Hz	33.75 MHz	16:9	ワイドビデオグラフィックアレイ
SVGA	800	600	60 Hz	40 MHz	4:3	スーパー VGA
			75 Hz	49.5 MHz		
XGA	1024	768	60 Hz	65 MHz	4:3	拡張グラフィックアレイ
			75 Hz	78.75 MHz		
WXGA	1280	768	60 Hz	79.5 MHz	5:3	ワイド XGA
WXGA	1280	800	60 Hz	79.5 MHz	16:10	ワイド XGA
SXGA	1280	960	60 Hz	108 MHz	4:3	スーパー XGA
SXGA	1280	1024	60 Hz	108 MHz	5:4	スーパー XGA
WXGA	1360	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
WXGA	1366	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
UXGA	1600	1200	60 Hz	162 MHz	4:3	ウルトラ XGA
HD1080	1920	1080	60 Hz	148.5 MHz	16:9	HD1080

SDTV 解像度 :

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
480i	720	480	29.97 Hz	13.5 MHz	4:3	変更された NTSC 規格
480p			59.94 Hz	27 MHz		
576i	720	576	25 Hz	13.5 MHz	4:3	変更された PAL 規格
576p			50 Hz	27 MHz		

HDTV 解像度 :

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
720p	1280	720	50 Hz	74.25 MHz	16:9	通常は DVB モード
			60 Hz			
1080i	1920	1080	25 Hz	74.25 MHz	16:9	通常は ATSC モード
			30 Hz			
1080p	1920	1080	50 Hz	148.5 MHz	16:9	通常は ATSC モード
			60 Hz			

- PC のテキスト品質は、HD1080 モード（1920 × 1080、60Hz）で最適です。
- お使いの PC ディスプレイ画面は、メーカー（および Windows の特定のバージョン）により異なって表示されることがあります。
- PC をディスプレイに接続する情報については、お使いの PC の取扱説明書を確認してください。
- 垂直と水平の周波数選択モードが存在する場合、60Hz（垂直）と 31.5KHz（水平）を選択します。場合によって、PC の電源が OFF の場合（または PC が接続されていない場合）に異常な信号（筋など）が画面に表示されることがあります。その場合は [**入力**] ボタンを押してビデオモードに入ります。また、PC が接続されていることを確認してください。
- 水平同期信号が RGB モードで不規則に見えるときは、PC の省電力モードまたはケーブル接続を確認してください。
- 本製品の設定表は IBM/VESA 規格に準拠しており、アナログ入力に基づいています。
- DVI サポートモードは PC サポートモードと同じと見なされます。
- 各モードの最適な垂直周波数は 60Hz です。

8. LCD パネルの画素欠陥および MURA について

当社は最高品質の製品をお届けすることを目指して、業界最先端の製造プロセスと厳しい品質管理を採用していますが、LCD パネルで画素欠陥が生じるのはやむを得ないものと考えております。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証することはできませんが、当社では保証期間中であれば、許容スペックを超える数の欠陥がある LCD パネルを修理または交換することを保証します。

8.1. 輝点欠陥

輝点欠陥は常時点灯している画素により発生します。以下が輝点欠陥の許容スペックとなります。サブ画素を一つの点の単位と数えます。

輝点欠陥	max 2
隣接する 2 つ以上の輝点欠陥	0

8.2. 部分的な輝点の欠陥

部分的な輝点欠陥	max 10

8.3. 暗点欠陥

暗点欠陥は、常時非点灯の画素により構成されます。以下が暗点欠陥の許容スペックとなります。

暗点欠陥	max 10
隣接する 2 つの暗点欠陥	max 2
隣接する 3 つの暗点欠陥	0
暗点欠陥間の最小距離	10mm

MURA

LCD パネルには画面上に暗い部分が現れることがあります。この現象は日本語の「ムラ」を意味する MURA として業界では知られており、特定の条件下で現れる画面上の不均一な部分を表します。MURA は液晶配向層の劣化の結果であり、高い周辺温度での長期間の使用により引き起こされるのが最も一般的な原因です。MURA は修理できません。また、当社の保証範囲外となります。

MURA を避ける方法

毎回 MURA を完全に除去する保証はできませんが、一般に MURA の出現は以下の方法により最小限に抑えることができます。

- バックライトの明るさを下げる
- スクリーンセーバーを使用する
- 機器の周りの温度を下げる

9. 清掃とトラブルシューティング

9.1. 清掃

本製品を使用する際の注意

- 手や顔、物をディスプレイの通気口に近づけないで下さい。ディスプレイ上部は、通気口から放出される排気のため高温となっており、身体の一部を近づけ過ぎると火傷や怪我をすることがあります。ディスプレイの上部付近に物を置くと、当該物およびディスプレイ本体に、熱による破損が生じる可能性があります。
- ディスプレイを移動する際は、必ずすべてのケーブルを抜いて下さい。ケーブルが接続されたままディスプレイを移動させると、ケーブルの破損や火事、感電を引き起こす恐れがあります。
- 清掃や保守作業を行う際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

前面パネル清掃手順

- ディスプレイの液晶パネル部は非常にデリケートです。表面はクリーニング用のクロスか、柔らかい糸くずの出ない布で優しく拭いて下さい。
- 液晶パネル表面が汚れた場合には、中性洗剤の溶液に柔らかい糸くずの出ない布を浸し、固く絞って余分な水分を取り除いた上で、液晶パネル表面を拭き埃を除いて下さい。その後、同じ種類の乾いた布で拭いて下さい。
- 液晶パネル表面を爪で引っ掻いたり、硬い物をぶつけたりしないで下さい。
- 殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないで下さい。

キャビネット清掃手順

- キャビネットが汚れたら、柔らかい乾いた布で拭いて下さい。
- キャビネットの汚れがひどい場合は、中性洗剤の溶液に柔らかい糸くずの出ない布を浸し、固く絞って水分を取り除いた上で、キャビネット表面を拭きます。その後、別の乾いた布で拭いて表面を乾かして下さい。
- 液晶パネル表面は、水や洗剤にさらさないようにして下さい。水分がディスプレイ内部に入り込むと、動作不良や故障、感電事故が起こる恐れがあります。
- キャビネットを爪で引っ掻いたり、硬い物をぶつけたりしないで下さい。
- キャビネットには殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないで下さい。
- ゴム製品またはポリ塩化ビニール製品を長期間キャビネット付近に置かないで下さい。

9.2. トラブルシューティング

症状	想定される原因	対処
映像が表示されない	1. 電源プラグが抜けている。 2. ディスプレイの背面にある主電源スイッチがオンになっていない。 3. 選択された入力ソースが接続されていない。 4. ディスプレイがスタンバイモードになっている。	1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。 2. 電源スイッチがオンであることを確認します。 3. ディスプレイに入力ソースを接続します。
表示された画像が乱れる、または音声にノイズが聞こえる	周囲に電子機器や蛍光灯がある。	干渉が少ない場所にディスプレイを移動させます。
色がおかしい	信号ケーブルが正しく接続されていない。	信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
映像が異常な模様で歪んでいる	1. 信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 入力ソースがディスプレイのスペックに合っていない。	1. 信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。 2. 本製品の範囲を超えていないか、ビデオ信号ソースを確認します。本製品の仕様のセクションで、仕様を確認してください。
画像が画面いっぱいに表示されない	1. ズームモードが正しく設定されていない。 2. スキャンモードが誤ってアンダースキャンに設定されている。	画面設定メニューのズームモードまたはCUSTOM ZOOM メニューで、画像の配置を調整します。 画像が画面サイズを超える場合、スキャンモードをアンダースキャンに設定する必要があります。
音声は聞こえるが、映像が表示されない	信号ケーブルが正しく接続されていない。	ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。
映像は表示されるが、音が聞こえない	1. 信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 音量が一番低く設定されている。 3. [Mute] がオンになっている。 4. 外部スピーカーが接続されていない。	1. ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。 2. [VOL UP][VOL DOWN] ボタンで音量を調整します。 3. [Mute] ボタンを押してミュートをオフにします。 4. 外部スピーカーを接続し、適切なレベルに音量を調節します。
一部の画素が光らない	液晶パネルに画素欠陥がある。	ディスプレイは精密な技術で製造されていますが、液晶パネルに画素欠陥が存在する場合があります。これは故障ではありません。
電源をオフにした後も残像が表示される（例:ロゴ、ビデオゲーム、パソコン画面、4:3 モードで表示された静止画像などの残像）	静止画像を長時間表示した。	静止画像を長時間表示しないで下さい。ディスプレイ上に残像が表示される原因となります。

10. 技術仕様

ディスプレイ：

項目	仕様
画面サイズ (アクティブ領域)	54.6" (138.7 cm) LCD
縦横比	16:9
画素数	1920（水平）x 1080（垂直）
画素ピッチ	0.63 (横) x 0.63 (縦) [mm]
表示可能色	10 ビット (D)、約 10 億 7,370 万色
輝度（標準）	500 cd/m^2
コントラスト比（標準）	1300:1
表示角度	178 度

入 / 出力端子：

項目		仕様
スピーカー出力	内部スピーカー 外部スピーカー	10W (左) + 10W (右) [RMS]/8 Ω 1 方向 1 スピーカーシステム 82 dB/W/M/160 Hz 〜 13 KHz
音声出力	フォンジャック x 1	0.5V [rms]（標準）/ 2 チャンネル (L+R)
音声入力	RCA ジャック x 2 3.5mm ステレオ x 1	0.5V [rms]（標準）/ 2 チャンネル (L+R)
RS232	2.5mm フォンジャック x 2	RS232 入力 /RS232 出力
RJ-45	RJ-45 ジャック x 1 （8 ピン）	10/100 LAN ポート
HDMI 入力	HDMI ジャック x 2 （タイプ A）（18 ピン）	デジタル RGB:TMDS (ビデオ + 音声) 最大 : 動画 - 720p、1080p、1920 x 1080/60 Hz (WUXGA) 音声 - 48 KHz/2 チャンネル (L+R) LPCM のみサポート
DVI-D 入力	DVI-D ジャック	デジタル RGB:TMDS (ビデオ)
VGA 入力	D-Sub ジャック x 1 （15 ピン）	アナログ RGB:0.7V [p-p] (75 Ω)、H/CS/V:TTL (2.2k Ω)、SOG:1V [p-p] (75 Ω) 最大 :720p、1080p、1920 x 1080/60 Hz (WUXGA)
DVI-I (DVI-D & VGA) 出力	DVI-I ジャック x 1 （29 ピン ）	デジタル RGB:TMDS (ビデオ) アナログ RGB:0.7V [p-p] (75 Ω)、H/CS/V:TTL (2.2k Ω)、SOG:1V [p-p] (75 Ω) 最大 :720p、1080p、1920 x 1080/60 Hz (WUXGA)
コンポーネント入力	BNC ジャック x 3	Y:1V [p-p] (75 Ω)、Pb:0.7V [p-p] (75 Ω)、Pr:0.7V [p-p] (75 Ω) 最大 :480i、576i、480p、576p、720p、1080i、1080p
ビデオ入力	BNC x 1 (Component_Y と共有)	コンポジット 1V [p-p] (75 Ω)
ディスプレイポート イン / アウト	ディスプレイポート ジャック x 2（20 ピン）	デジタル RGB:TMDS (ビデオ + 音声) 最大 : 動画 - 720p、1080p、1920 x 1080/60 Hz (WUXGA) 音声 - 48 KHz/2 チャンネル (L+R) LPCM のみサポート

一般：

項目	仕様
内部メモリ	16GB eMMC (12GB 使用可能)
電源	AC 100 - 240V、50 - 60Hz
消費電力（最大）	230 W
消費電力（標準）	120 W
消費電力（スタンバイ & オフ）	<0.5W (RS232 アクティブ)
寸法 (スタンド付き) [幅 x 高さ x 奥行き]	1228.6 x 734.32 x 329.6 mm
寸法 (スタンドなし) [幅 x 高さ x 奥行き]	1228.6 x 699.4 x 71.1 mm (ハンドルの場合) / 56.8 (壁取り付けの場合)
重量 (スタンド付き)	26.4 Kg
重量 (スタンドなし)	24.7 Kg
総重量 (スタンドなし)	31.2 Kg

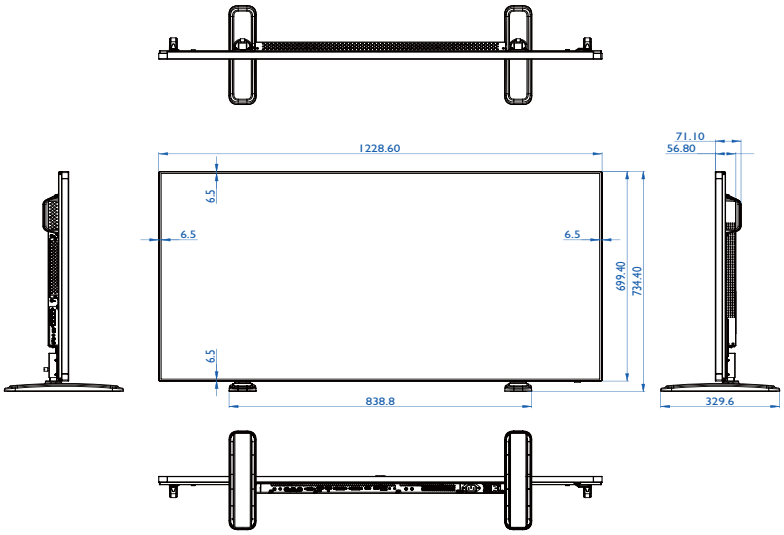
環境条件：

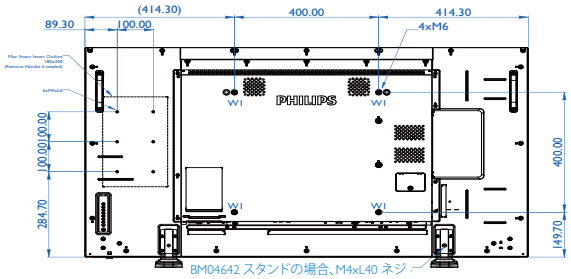
項目		仕様
温度	操作時	0 ~ 40℃
	ストレージ	-20 ~ 60° C
湿度	操作時	20 ～ 80% RH（結露なし）
	ストレージ	5 ～ 95% RH（結露なし）
高度	操作時	0 ~ 3,000 m
	保管時 / 輸送中	0 ~ 9,000 m

内部スピーカー：

項目	仕様
種類	1 方向 1 スピーカー
入力	10 W (RMS)
インピーダンス	8 Ω
出力音圧	82 dB/W/M
周波数応答	160 Hz ～ 13 KHz

11. 外形図


1228.60
71.10
56.80
6.5
6.5
6.5
6.5
699.40
734.40
838.8
329.6


(414.30)
400.00
414.30
89.30
100.00
4xM6
W1
W1
W1
W1
PHILIPS
100.00
100.00
284.70
400.00
149.70
BM04642 スタンドの場合、M4xL40 ネジ

フィリップスモニター・サポートセンター 0120-060-530
受付時間
10:00–17:00(平日)
philips-support@seamless.co.jp

2015 © Koninklijke Philips N.V.無断複製および転載を禁じます。

PhilipsとPhilips Shield EmblemはKoninklijke Philips N.V.の登録商標で、
Koninklijke Philips N.V.からライセンスを受けて使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。